令和５年度

健康づくりセンター管理運営業務報告書
（事業報告書）

札幌市健康づくりセンター指定管理者
一般財団法人札幌市スポーツ協会

目次

・事業実施状況
Ⅰ　指定管理事業……2
１　健康増進事業（中央）……2
２　利用促進事業……4
３　運動指導事業……4
４　利用勧奨事業……5
５　女性フレッシュ健診（中央）……6
６　健康増進に関する情報の収集・提供……6
７　その他センターの設置目的を達成するために実施する事業……7
Ⅱ　受託事業……8
１　健診関係……8
２　事業関係……8
Ⅲ　自主事業……8
１　健康づくり活動の支援事業……8
２　派遣事業（中央・西）……12
３　地域コミュニティ支援事業……12
４　研修事業……12
５　その他……13
Ⅳ　総利用者数……15
Ⅴ　施設の使用承認等……16
１　利用料金の徴収……16
２　利用料金の減額及び免除……17
３　収支報告……17
Ⅵ　利用促進に係る業務……17
１　供用期間・時間の拡大……17
２　広報業務……17
Ⅶ　統括管理業務……18
１　札幌市及び関係機関との連絡調整……18
２　職員研修……18
３　アンケート調査の実施……18
４　施設・設備等の維持管理……19
５　防災業務……20

・添付資料
Ⅰ　団体の運営状況を表す事業報告
Ⅱ　団体の経営状況を説明する書類

事業実施状況

札幌市民一人ひとりの健康づくり活動を支援するため、健康づくりに関する普及啓発、情報提供、その他健康増進に関する事業を行う事によって、市民の健康向上に寄与することを目的に次の事業を行った。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う感染防止対策等

感染防止対策（各施設における取組み）

	実施内容	使用中止等
施設	・非接触型検温器の設置 ・定期的な換気 ・消毒液の設置 ・遮蔽スクリーン等の設置（受付・トレッドミル間など）	・水分補給以外の飲食 ・トレーニング機器汗拭きタオル撤去 ・ロビー休憩スペース等の椅子の撤去
利用者	・検温、体調確認 ・マスク持参・着用 （運動フロアについては個人の判断。健診フロアについては医療機関の基準に準ずるため着用継続） ・入館退館時の手指消毒の設置 ・運動機器使用後の消毒　など	

※4/1～シャワー室利用再開、5/9～ハンドドライヤー使用再開

◆中央センター　管理体制の変更及び改修工事休館に伴う作業等

1　旧中央保健センター庁舎の管理体制変更等（令和5年４月１日～）

（1）警備体制の変更に伴う作業

夜間、土・日・祝日警備員配置による警備体制から機械警備への変更に伴い、警備員が行っていた業務の一部を中央センター職員で担った。

（エレベーター作動・停止操作、1階玄関の開錠・施錠、最終退館時の機械警備設定等）

（2）防火管理者の配置

（3）ワクチン接種会場としての庁舎使用に伴う担当者との調整等（5 月・6 月・10 月）

（4）2023 年 G7 サミット開催に伴う調整等

2　改修工事に伴う休館等

（1）休館期間

令和 5 年 10 月 1 日～令和 7 年春頃まで

（2）健診業務移転準備

（ア）中央健康づくりセンター　診療所開設休止届

（イ）西健康づくりセンター　診療所開設許可申請

（ウ）健診機関としての変更手続き等（特定健診・保健指導機関届）

（3）移転作業

引越し日程：10 月 16 日（月）～18 日（水）

Ⅰ　指定管理業務

1　健康増進事業（中央）

市民一人ひとりが、安全でより効果的な健康づくり活動を実践することを目的に、医学的検査や体力測定により個々の健康状態を把握し、これにより得た結果を基に必要な指導を行った。

【中央センターの休館に伴う対応】

西センターにて以下の体制で事業を継続させたが、中央センターとは施設の規模が異なり、事業を実施するために必要な部屋や備品が限定され、複数人数が同時進行でできていた検査などができなくなったため、受け入れ人数を制限せざるを得ない状況での実施となった。

西健康づくりセンターでの健診事業実施体制について

・移転実施による変更点

	変更前(中央センター)	変更後(西センター)	移転による影響
運動負荷心電図用バイク	6 台	3 台	同時進行での診察・負荷検査・結果説明が不可
診察室(診察スペース)	2 か所	1 か所	
安静時心電図	2 台	1 台	同時進行での検査が不可
頚部エコー検査実施場所	安静時心電図検査と別室 両検査を同時実施可能	安静時心電図と同スペースに設置、両検査を同時実施不可	
指導ブース (保健・栄養・運動)	3 か所	2 か所	同時進行での結果説明や指導が不可
尿検体採取	館内で採取	自宅で採取 (尿スピッツを新たに購入・使用)	利便性の低下
更衣室	健診フロア更衣室	体力測定室内に設置 (同時使用最大2名)	
待機場所	ロビースペースあり	健診専用の待機場所なし (廊下等で待機)	
最大受入可能人数	42 人/週	27 人/週	受入可能人数の減少

(1)健康度測定

運動負荷心電図検査を含むメディカルチェックと体力測定、生活活動調査、食生活分析の結果をもとに、個々の健康状態や体力及びライフスタイルに応じたアドバイスと運動プログラムの作成及び個別運動指導など、生活習慣の改善を支援する指導を行った(週 5 日)。

ア 一般コース(18 歳以上の方)

基礎的な医学的検査、運動負荷心電図検査、体力測定などを行い、これらの結果に基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

イ 簡易コース(18 歳以上の方)

6ヶ月以内の健康診断結果(血液検査)を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

ウ 特定健診簡易コース

各保険者が行なう特定健康診査の結果を基に必要な検査を実施し、これらに基づき運動・栄養・保健の総合指導を行った。

施設	事業名			対象者	実施回数(回)	受診者数(人)
中央 西	健康度測定	一般コース		一般市民	278 回 中央:4/1~9/30 西:11/1~3/31 ※10/1~10/31 休診	59 (中央:46、西:13)
		簡易コース	単独	健診データ持参 (6 ヶ月以内)		788 (中央:428、西:360)
			特定簡易	特定健診併用者		213 (中央:124、西:89)
	合　計					1,060

利用促進の取組

●「簡易コース」を午後に実施することで利便性を向上
●特定健康診査・後期高齢者健診と簡易コースを同時に行う「特定簡易コース」を設定
●日曜日に実施
●健康度測定受診に対する助成(札幌市中小企業共済センターと協定に基づく受診料への助成)

※健康度測定受診者のうち重視する対象者 886 名(83.6%)　(人)

生活習慣病 発症予防対象者	生活習慣病 重症化予防対象者	要介護・要支援 予防対象者	要介護・要支援 認定者	障がい者
116	772	0	30	97

※項目が重複している方がいるため、重視する対象者の総数とは一致しない。

（2）体力測定コース

基礎的な形態測定、体力測定から得られた結果説明と運動プログラム作成および個別運動指導を行った。

施設	事業名	対象者	実施回数（回）	受診者数（人）
中央 西	体力測定コース	一般市民	10 中央:4/1～9/30、西:11/1～3/31 ※10/1～10/31 休止	19 （中央:7、西:12）

2 利用促進事業

（1）利用促進対象者の情報提供（利用連絡票による紹介件数）

医療機関や関係機関との連携により、重視する対象者の診療情報などの情報提供を受け、健康づくりセンターにて安全で効果的な健康づくり活動が継続的に行えるよう支援を行った。

また、初回利用後、情報の提供を受けた機関に対し、健康づくりセンターから対象者の利用状況について報告した。

（件）

医療機関	各区 保健福祉部	地域包括 支援センター	介護予防 センター	障がい者 相談事業所	特定保健指導 実施機関
13	3	0	0	0	0

（2）対象者の意欲喚起

重視する対象者全員に健康度測定受診から6か月後に、中間測定（体重・腹囲・血圧）を行い、健康運動指導士等から測定結果に合わせて指導を実施した。

対象期間	合計（人）
令和4年度 10 月～令和 5 年度 9 月	614

3 運動指導事業

市民の自主的な健康づくり活動の実践の場として運動フロアを開放し、健康増進を図るため、健康運動指導士など有資格者による運動指導（個別・集団）、運動機器の利用指導、運動に関するアドバイスを行った。

（1）運動フロアの自主利用の促進

市民の自主的な健康づくりを推進するため、健康度測定・体力測定受診者への運動プログラムの作成、個別運動指導や一般利用者に対する運動器具の利用指導を行った。

ア 一般利用者

施設	事業名	実施回数	利用者数（人）	
中央	自主利用	開館日数 156 日 ※4 月～9 月	有料者	15,165
			減額者	8,761
			免除者	2,192
	小 計			26,118
東	自主利用	開館日数 309 日	有料者	21,067
			減額者	4,145
			免除者	915
	小 計			26,127
西	自主利用	開館日数 309 日	有料者	63,536
			減額者	19,332
			免除者	5,144
	小 計			88,012
合 計				140,257

イ 重視する対象者の利用状況（令和 5 年度利用対象分）

重視する対象者人数（人）	延べ利用人数（人）	月平均利用回数（回）
1,673	65,066	3.2
		*令和 5 年度登録者数 886 名

重視する対象者への支援強化

●運動記録ノートの活用

●運動器疾患（膝痛・腰痛など）に対する理学療法士の介入

（2）自由参加プログラムの実施

エアロビクスやストレッチなどを集団指導する自由参加プログラムを開催、指導した。

施設	事業名	実施回数（回）	利用者数（人）
中央	自由参加プログラム（10 回/週）	※4 月～9 月　263	＊6,197
東	自由参加プログラム（6 回/週）	309	＊7,179
西	自由参加プログラム（10 回/週）	510	＊17,436
	ウォーキング講習	中止（ウォーキングデッキ使用制限）	―
合　計			＊30,812

＊自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

自由参加プログラム実施におけるコロナ感染防止対策（5/15 まで）

●自由参加プログラム：プログラム開始時間に合わせて実施場所に集合した利用者を対象に実施

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、使用面積等により定員を設け、参加者の決定には安全と公平性を考慮して受付方法等を変更し実施した。

●受付方法

プログラム参加希望者に整理券を配布し、希望者多数の場合は抽選を行い、各センター各室におけるプログラム実施時の利用者の密の回避に努めた。

	中央	東	西	備考
定員	35 人	30 人	40 人	使用面積 3 ㎡／一人
整理券配布時間	プログラム開始 20 分前まで			配布終了時点で定員に達しない場合は先着順で定員まで受入れる
整理券配布場所	受付カウンター（施設利用受付時に配布）			

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「５類」に移行したことに伴い、5月16日より自由参加プログラムにおける人数制限等を解除した。

※西健康づくりセンター「らくらく筋トレ 30」のみ定員50名設定を継続

（3）運動指導員の派遣（保健センターへの派遣）

各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、集団的運動の実践指導を行った。

区	実施回数（回）	延べ人数（人）	区	実施回数（回）	延べ人数（人）
中央	2	101	北	2	15
東	2	49	白石	3	63
厚別	2	59	豊平	0	0
清田	2	26	南	2	55
西	2	39	手稲	0	0
合　計（施設利用人数には含まず）				17	407

（4）個別運動指導

施設	事業名	実施回数（回）	利用者数（人）
中央	個別運動指導（運動指導・運動プログラムの作成等）	85	＊126
東		50	＊52
西		213	＊386
合　計			＊564

＊自主利用者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

4　利用勧奨事業

（1）長期未利用者に対する利用勧奨

健康度測定及び個別運動指導を受けた後、健康づくりセンターを2か月以上利用していない重視する対象者に対し、担当者から電話等において再度の来館を促した。

【居住区別長期未利用者】　（人）

	中央	西	東	北	白石	厚別	豊平	清田	南	手稲	市外	合計
重視する対象者数	263	357	76	70	17	7	27	3	23	37	6	886
長期未利用者数	72 27.4%	52 14.6%	18 23.7%	14 20.0%	3 17.6%	3 42.9%	9 33.3%	1 33.3%	4 17.3%	8 21.6%	1 16.7%	185 20.9%

5 女性のフレッシュ健診（中央）

受診機会の少ない 18 歳から 39 歳までの女性を対象に、一般的な健康診断のほか骨粗しょう症検診も併せて実施した。

施設	事業名		実施回数（回）	受診者数（人）
中央	女性のフレッシュ健診	4/1～9/30	25	411
西		11/1～3/31	22	143
合計			47	554

※「女性のフレッシュ健診 3DAYS」

通常、火曜日に実施している健診を「女性の健康週間」に時期を合わせ 3/8（金）～3/10（日）に実施。

女性のフレッシュ健診におけるコロナ感染防止対策および西健康づくりセンター移転後の実施体制

	通常	変更後
●受付時間を細分化し実施 ①受診者同士の対人距離確保のため ②西センター移転後の待機場所確保が困難のため	①8:30～9:00 ②9:00～9:30	①8:30～8:45 ②9:15～9:30 ③10:00～10:15

6 健康増進に関する情報の収集・提供

（1）普及啓発事業

ア 医療機関・保険者等への普及啓発

医療機関や各保険者に向けて、利用促進事業をはじめ、健康度測定の受診メリット、健康づくりセンターの役割と機能について直接説明を行うなど広報・普及啓発活動を行い、重視する対象者の各センターの利用促進を図った。

（a）リーフレット・広報資料郵送

郵送日	対象施設等	件数
4/14	イムス札幌消化器内科地域医療連携室	1
3/2	健康づくりセンター近隣区（中央・西・東・北・手稲）の医療機関	297

（b）訪問・来館・オンライン

実施日	対象施設等	方法	件数
12/27	さっぽろ糖尿病甲状腺クリニック さっぽろ甲状腺クリニックアスティ 45	訪問	2
1/11	札幌循環器病院	訪問	1
1/15	地域包括支援センター業務連絡会議（札幌市役所）	訪問	1
1/18	川北内科循環器科医院	来館	1
1/26	西区包括・予防センター会議（西区役所）	訪問	1
1/31	北海道栄養士会	訪問	1
2/21	介護予防センター業務連絡会議	オンライン	1
2/29	東区第一包括支援センター	訪問	1
2/29	イムス札幌消化器内科総合病院循環器科	訪問	1

イ 重視する対象者への普及啓発

新規の重視する対象者を発掘しセンター利用に繋げるため、健康度測定のメリットや健康づくりセンターの意義について直接説明する機会を設け、利用促進を図った。

実施日	実施施設等	参加人数（人）
9/26	西区老人クラブ連合会（運動実践）	25
10/31	西区ふれあい交流会（運動実践）	75
2/2	北区体育館（健康講話）	4
2/6	白石区体育館（健康講話）	4
2/9	東区体育館（健康講話）	2
2/15	西区食生活改善推進員協議会研修会（運動実践）	8
2/28	令和 5 年度　白石区とことこ会総会（運動実践）	23
2/29	知ってトクする！冬の“よくばり”健康講座（厚別区：運動実践）	41
3/7	中央区健康づくり交流会（運動実践）	90
3/14	みなみくん歩好会パワーアップ研修会（南区：運動実践）	33
3/21	北区食生活改善推進員協議会研修会（運動実践）	34

ウ　センター設置区外の住民に対する重点的な普及啓発

当協会が主催する「札幌マラソン」や「6時間リレーマラソン」などの大型イベントにおいて PR ブース等を設置し、施設 PR・利用案内・事業説明などを広く周知、広報活動を実施することにより、健康度測定や運動フロアの利用促進を図った。

(2)ホームページの運営・図書等の整備

健康に関する文献等、市民への情報提供を行うとともに、センターの紹介やイベント案内などをホームページへ掲載、また健診予約などインターネットからの申込受付を行った。

(3)刊行物の発行

健康づくりセンターの利用促進及び実施事業・健診等の情報を発信するため、月別利用予定表を発行し、利用者等へ配布した。

(4)インスタグラム・LINE 等の SNS を利用して健康づくり情報などを配信した。

配信日	配信内容等	媒体
4/26	令和 5 年度　健康講座案内	LINE
5/2	高血圧のおはなし	LINE
5/22	東健康づくりセンター教室(ベーシックヨガ、ズンバ他)紹介	Instagram
5/22	西健康づくりセンター教室(ジュニアヒップホップ・シンプルヨガ他)紹介	Instagram
6/13	父の日無料開放	Instagram
7/5	理学療法の日	LINE
7/26	栄養の日	LINE
8/1	東健康づくりセンター教室(ボディメイク PLUS ダンベル)紹介	Instagram
8/22	中央健康づくりセンター30 周年事業、健康づくりフェスタ 2023	Instagram
8/23	中央健康づくりセンター30 周年事業、健康づくりフェスタ 2023	LINE
9/13	健康度測定の西健康づくりセンターでの移転実施について	LINE
10/11	中央健康づくりセンター改修工事による休館について	LINE
10/27	東健康づくりセンター教室(高齢者のための体力づくり教室)紹介	Instagram
11/1	世界糖尿病デー	LINE
12/13	女性のフレッシュ健診案内	LINE
12/26	西健康づくりセンター教室(追加募集中)紹介	Instagram
2/7	女性のフレッシュ健診 3DAYS 案内	LINE
2/7	東健康づくりセンター教室(ベーシックヨガ)紹介	Instagram
3/13	健康づくりセンターと健康度測定の案内	LINE
3/21	西健康づくりセンター教室(追加募集中)紹介	Instagram

7　その他センターの設置目的を達成するために実施する事業

(1)各種相談事業

市民の健康増進に資するため、センター利用者などに対して健康づくりや食生活に関する保健・栄養相談と指導を行った。

施設	事業名		対象者	実施回数(回)	相談数(人)
中央	健康相談・栄養相談 (フォロー・電話相談含む)	保健指導	健康度測定者	213	1,022
			一般相談者	30	42
		栄養指導	健康度測定者	213	1,032
			一般相談者	40	83
	理学療法士による評価・相談		健康度測定者	207	1,011
			一般相談者	9	18
合　計					3,208

(2)地域における自主活動への支援等

地域の健康づくりを担う自主活動グループ・町内会等の自主活動が円滑に行えるよう、地域の人材育成を支援する講習会等を実施する計画。(対象となる支援団体の選定については札幌市と協議)

→令和 5 年度については団体の選定には至らなかったが、地域組織(食生活改善推進員協議会等)の会合に出向いた際に、自主活動における健康づくり活動の簡単にできる取り組み例などの紹介を行った。

（3）調査研究事業

調査研究対象とする事業のデータ収集を行い、そのデータに基づいて分析、検証した。

事業名
健康度測定高齢受診者における身体的フレイルと推定栄養摂取量等との関連について

Ⅱ　受託事業

1　健診関係

（1）特定健康診査

各保険者が行う特定健康診査を実施した。また、特定健診受診時に健康度測定を受診できるよう「特定健診簡易コース」を設け、利用促進を図った。

（2）大腸がん検診及び緊急肝炎ウイルス検査

受診希望者に対して、特定健康診査受診時等に実施した。

施設	事業名	実施日	健診数（人）
中央	特定健康診査	健康度測定実施日	21
	大腸がん検診		5
	前立腺がん検診		0
	小　計		26
	大腸がん検診	健康度測定と同時受診	＊69
	前立腺がん検診		＊11
	緊急肝炎ウイルス検査		＊202
	緊急肝炎ウイルス検査（単独）		＊44
	小　計		＊326
合　計（＊含む）			352

＊健康度測定受診者数に含まれるため施設利用者数に反映しない

2　事業関係

（1）国保　特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）

対象者が自らの生活習慣における課題に気づき、健康的な行動変容の方向性を自らが導き出せるよう支援を行った。特に積極的支援においては運動実践を取り入れたプログラムを提供し、運動習慣の定着と健康的な生活習慣の確立を目指した支援を行った。

※申込受付、初回面談・終回評価等の保健・栄養指導については中央健康づくりセンターにて実施。積極的支援の運動指導のみ 3 施設（中央・東・西健康づくりセンター）で実施可。参加数は中央センターへ計上。

施設	事業名	参加数（人）	延べ人数（人）
中央	積極的支援	3	18
	動機づけ支援	7	12
西	積極的支援（運動指導のみ）	3	6
東	積極的支援（運動指導のみ）	1	3
合　計		14	39
保健・栄養・運動指導（中央）			＊53

＊中央センター来館同一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

Ⅲ　自主事業

1　健康づくり活動の支援事業

（1）健診事業

健康増進事業（指定管理業務）等を補完・付加するための検査を実施。

ア)オプション検査など（中央）

施設	事業名	実施回数	健診数(人)
中央	フォローアップ健診	1	1
	採用時健診(資格証明)	1	9
	小 計		10
	簡易セット・追加検査(血液)等	希望者・対象者 随時	＊156
	診断書作成		＊13
	頚動脈エコー検査(健康度受診の希望者)		＊166
	骨密度検査(健康度受診の希望者)		＊100
	BNP検査(健康度受診の希望者)		＊43
	足腰元気度チェック(健康度受診の希望者)		＊24
	HbA1c(女性のフレッシュ健診受診の希望者)		＊119
	血液型検査(ABO 式・RH 式)		＊6
	胃がんリスク検査(ABC 検診)		＊48
	PSA 検査(前立腺がん検診)		＊9
	安静時心電図検査		＊49
	小 計		＊733
合 計			743

＊健康度測定受診者に含まれるため施設利用者数に反映しない

イ)健康チェック(中央)

施設	事業名	参加数(人)
中央	動脈硬化度チェック	2
	体成分チェック	141
	超音波骨密度チェック＆アドバイス	10
	理学療法士による姿勢チェック	12
合 計		165

(2)運動指導教室

施設	事業名	実施数	期	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	運動教室 成人対象:年 4 期制 こども対象:年 2 期制	43 教室/年	成人 2、こども 1	859	7,916
東		25 教室/年	成人 4、こども 2	434	5,687
西		84 教室/年	成人 4、こども 2	2,684	24,074
合 計-201 教室				3,977	37,677

※中央センターは 9 月までの数値

(3)健康サポート教室

市民を対象に健康・体力づくりや運動能力の向上などを目的とした教室や講習会を実施した。また、健康づくり活動に対しての動機付けとなる体験会などを実施した。

ア)運動器疾患別予防運動教室(中央・東・西)

施設	事業名		期	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	膝げんき体操教室	火曜	2	36	324
		水曜	2	29	277
		木曜	2	39	315
		金曜AM	2	30	276
		金曜PM	2	34	304
	ひざ腰すこやか体操教室	火曜	2	48	417
		金曜	2	63	604
	腰痛予防運動教室		2	52	468
	股関節痛予防運動教室		2	35	354
	小 計			366	3,339
東	ひざの機能アップ教室		4	68	614
	こしの機能アップ教室		4	39	342
	股関節の機能アップ教室		2	16	104
	小 計			123	1,060

西	ひざの機能アップ教室		4	118	1,065
	こしの機能アップ教室		4	81	762
	サルコペニア予防教室		4	81	705
	ひざの機能アップ４名教室	水曜	4	14	131
		土曜	4	16	134
	こしの機能アップ４名教室		4	15	145
	股関節の機能アップ４名教室		4	12	111
	小　計			337	3,053
合　計				826	7,452

イ)高齢者～介護予防事業の推進(中央･東･西)

施設	事業名			期	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	高齢者のための体力づくり教室			2	30	277
	高齢者のためのフレイル予防教室			2	31	264
	高齢者のための筋トレ教室		火曜	2	27	240
			水曜	2	23	219
			木曜	2	24	210
			金曜	2	30	281
			土曜	2	24	189
	メディカルフィットネス	リハビリ専門家の体力回復教室	木曜	2	15	143
			金曜	2	23	207
			土曜	2	18	159
		リハビリ専門家の体力づくり教室		2	10	87
	小　計				255	2,276
東	高齢者のための体力づくり教室		水曜	4	58	539
			金曜	4	91	804
	小　計				149	1,343
西	高齢者のための体力づくり教室			4	78	647
	高齢者のための筋トレ教室		木 AM①	4	40	379
			木 AM②	4	38	354
			木 PM①	4	37	353
			木 PM②	2	12	115
	高齢者のための筋トレ８名教室		火 AM①	2	13	133
			火 AM②	2	12	109
			火 PM①	4	20	266
			火 PM②	4	25	278
			水 AM①	4	31	298
			水 AM②	4	31	304
			金 AM①	2	7	69
			金 AM②	2	6	54
			金 PM①	4	20	172
			金 PM②	4	25	234
			土 AM①	4	28	279
			土 AM②	4	29	259
	小　計				452	4,303
合　計					856	7,922

ウ)運動習慣化教室(中央･西)

施設	事業名	期	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	シェイプアップフィットネス	2	50	412
東	初めての筋活教室	4	34	279
西	初めての筋活教室	4	81	1,068
	生活習慣改善運動教室	4	50	403
	小　計		131	1,471
合　計			215	2,162

（4）専門職による健康講座

ア）健康講座（講話＋運動実技）

施設	事業名		参加数（人）
中央	健康講座	正しい姿勢でウォーキング　～姿勢の基本から見直そう～	19
		食べて運動！フレイル予防講座　～たんぱく質のとりかたを学ぼう～	11
		膝の痛みが悪化するその前に！　～膝の痛みを予防するために～	19
		認知症を学ぶ＆予防運動講座　～予防につながる生活習慣を学ぼう～	8
		腰痛予防講座　～腰の痛みを予防するために～	13
		災害に備えてできることを学ぶ　～9/1 は防災の日～	3
		小　計	73
東		食べて運動！フレイル予防　～たんぱく質の摂りかたを学ぼう～	18
		認知症を学ぶ＆予防運動	16
		小　計	34
西		ストレスを抱え込まない　～ストレスとの付き合い方～	10
		安全な運動をするために　～あなたの心臓を守りましょう～	8
		検査データの見方	3
		小　計	21
合　計			128

イ）無料健康講座

施設	事業名		参加数（人）
中央	健康講話	高血圧の日（5/17）	13
		理学療法の日（7/18）	20
	イベント	栄養の日（8/4）	＊96
西	健康講話	世界糖尿病デー（11/9）	16
合　計			49

＊来館者に栄養簡単チェックとサンプル配布等のイベント実施のため施設利用者数に反映しない

（5）運動サポート事業（中央・西）

施設	事業名		参加数（人）
中央	運動効果測定	脚筋力測定	4
		体脂肪測定	24
東	運動効果測定	脚筋力測定	6
		体脂肪測定	11
西	運動効果測定	脚筋力測定	6
		体脂肪測定	14
	健康体力測定	安心コース	16
		もっと安心コース	8
合　計			89

（6）特定保健指導（中央）　※札幌市国民健康保険加入者除く

施設	事業名		参加数（人）	延べ人数（人）
中央	積極的支援	運動施設	0	0
		在宅実践	0	0
	動機づけ支援	運動施設	0	0
		在宅実践	1	2
合　計			1	2
保健・栄養・運動指導				＊3

＊中央センターに来館同一日に多職種が指導または電話による支援のため施設利用者数に反映しない

（7）禁煙支援プログラム（中央）

施設	事業名	参加数（人）	延べ人数（人）
中央	禁煙支援プログラム	0	0
	喫煙者呼気中一酸化炭素濃度チェック	0	0
合　計		0	0

（8）健康・栄養相談（中央）

施設	事業名	参加数（人）
中央	栄養バランス相談	1
	E メール相談 健康相談窓口	5
合　計		6

2 派遣事業（中央・西）

保健センターや事業所、学校などへ専門スタッフを派遣し実践指導を実施した。

運動指導員・理学療法士・保健師・看護師派遣　（人）

月日	依頼先	人数
7/9	中央区地域振興課（Cspot-PARTY）	30
8/29	東区保健福祉部健康・子ども課	26
9/6	シニアワーキングさっぽろ 2023（北ガスアリーナ）	111
9/7	シニアワーキングさっぽろ 2023（北ガスアリーナ）	105
9/12	（株）札幌丸井三越総務・経営企画部人事　健康相談室	40
9/13	（株）札幌丸井三越総務・経営企画部人事　健康相談室	30
9/26	西区老人クラブ連合会	25
9/27	シニアワーキングさっぽろ 2023（厚別区体育館）	88
9/28	豊水まちづくりセンター	8
10/24	西区地域振興課	10
10/31	西区介護予防センター八軒	75
12/26	チャレンジ！スポーツパーク 2023	64
12/27	チャレンジ！スポーツパーク 2023	133
3/21	北区食生活改善推進員協議会	34
合　計	14 件	779

3 地域コミュニティ支援事業

地域住民を対象に、周年記念イベントや特別開館などを実施した。

（1）イベント事業（無料開放）

月日	事業名	施設	参加数（人）
5/14	母の日無料開放（18 歳以上の女性のみ）	中央	53
		東	40
		西	116
6/18	父の日無料開放（18 歳以上の男性のみ）	中央	46
		東	30
		西	87
9/3	健康づくりセンターフェスタ（中央）	合同	130
合　計			502

（2）特別開館等（月曜休館日）

月日	事業名	施設	参加数（人）
9/25	西区健康づくりフェア 2023	西	131

※西保健センターとの共催

4 研修事業

運動指導従事者を対象に、指導現場において運動プログラムを効果的に実践するために必要とされる実用的な知識と技能を向上させることを目的に開催した。

月日	事業名	参加数（人）
2/23	運動指導従事者研修　「自他の健康　～エビデンスと運動の実践～」	34

5 その他

(1)中島体育センターにおける健康サポート教室(中央センター休館期間)

施設	事業名		期	参加数(人)	延べ人数(人)
中央	膝げんき体操教室	火	2	36	296
		木	2	40	330
		金	2	35	268
	高齢者のための筋トレ教室	火 AM	2	31	268
		火 PM	2	26	212
		水	2	28	232
		土 AM	2	22	193
		土 PM	2	26	216
	ひざ腰すこやか体操教室	火	2	37	303
		水	2	29	213
		金①	2	38	339
		金②	2	36	337
	腰痛予防運動教室	木	2	20	172
		金	2	33	167
	股関節痛予防運動教室	土 AM	2	35	309
		土 PM	2	19	144
	【メディカルフィットネス】 リハビリ専門家の体力回復教室	水①	2	17	141
		水②	2	17	124
		金①	2	21	170
		金②	2	21	241
	高齢者のための体力づくり教室	木	2	28	218
	高齢者のためのフレイル予防運動教室	木	2	26	207
合　計				621	5,100

(2)イベント協力事業

各地域における健康・スポーツ関係団体の開催するイベントにて各種相談・指導等を計画

月日	イベント名	内容
7/16	6 時間リレーマラソンin札幌ドーム	準備体操・エアロビクス等
7/17	八軒ふれあいまつり	血圧、身長、握力測定

(3)施設間共同事業

事業名	内容
Do スポ！シニア健康塾 (中央)	シニア世代を対象に軽スポーツ・フィットネス・文化教室など様々なプログラム(健康度測定を含む)を実施した事業。希望者に中島体育センタートレーニング室にてマシン講習を実施。

(4)社会貢献

事業名	内容
ミーナの募金	盲導犬育成支援募金「ミーナの募金箱」を設置
さっぽろ救急サポーター事業	「さっぽろ救急サポーター」に参画し、速やかな応急手当による救命率の向上に協力
札幌市地域安全サポーターズ	「こども 110 番の店」への登録し、子ども達が安全にかつ安心して登下校が出来るよう協力

(5)インターンシップ事業・施設見学

施設	事業内容	延べ人数(人)
中央	施設見学	107
	6/6～6/9　札幌市立大学 1 年生初期実習	17
	7/26　北翔大学 4 年生	9
東	施設見学	238
西	施設見学	133
	6/21　八軒小学校 2 年生「まちが大すきたんけんたい」	67
	11/28、11/29、12/12、12/13 北海道医薬専門学校看護学科 2 年生(健康支援学習・ヘルスプロモーション実習)	19
	1/9　札幌日本大学高等学校 2 年生	1
	2/8　北海道札幌西高等学校 2 年生	2
合　計		591

（6）その他

ア　上靴専用ロッカー貸出事業（中央・東・西）

施設	事業名	内容	設置台数（台）
中央	有料上靴専用貸ロッカー	貸出期間：1 か月単位	4～10 月：24 人用×3 11～3 月：24 人用×2 ※休館により西に 1 台移設
東			24 人用×1
西			4～10 月：24 人用×3 11～3 月：24 人用×4 ※中央休館により 1 台移設

イ　自動販売機（中央・東・西）

施設	事業名	内容	設置台数（台）
中央	自動販売機	飲料・栄養補助食品 ※栄養補助食品は販売中止を継続	2 ※4 月～9 月
東			2
西			2

ウ　利用者への利便性並びにサービス向上を目的とした物品販売

品　　目
スポーツタオル、スポーツソックス
ストレッチ DVD
ストレッチポール、ギムニクボール、セラバンド、シェイプリング

Ⅳ 総利用者数(まとめ)

（人）

区　分				中央	東	西	合 計
総　計				44,761	34,791	121,217	200,769
一般利用者				26,118	26,127	88,012	140,257
	うち自由参加プログラム参加者（再掲）			*6,197	*7,179	*17,436	*30,812
運動教室				7,916	5,687	24,074	37,677
その他				10,727	2,977	9,131	22,835
内訳	指定	健康度測定		1,060	--	--	1,060
		体力測定		19	--	--	19
		女性のフレッシュ健診		554	--	--	554
	受託	単独特定健康診査		21	--	--	21
		単独大腸がん検診		5	--	--	5
		単独前立腺がん検診		0	--	--	0
		国保　特定保健指導		30	6	3	39
	自主	健診	フォローアップ健診	1	--	--	1
			採用時健診(資格証明)	9	--	--	9
		健康チェック	動脈硬化度チェック	2	--	--	2
			体成分チェック	141	--	--	141
			超音波骨密度チェック＆アドバイス	10	--	--	10
			理学療法士による姿勢チェック	12	--	--	12
		運動サポート	脚筋力測定	4	6	6	16
			体脂肪測定(InBody)	24	11	14	49
			健康体力測定	--	--	24	24
		教室	膝げんき体操教室	1,496	--	--	1,496
			ひざ腰すこやか体操教室	1,021	--	--	1,021
			腰痛予防運動教室	468	--	--	468
			腰痛予防運動教室(中島)	339	--	--	339
			股関節痛予防運動教室	354	--	--	354
			ひざの機能アップ教室	--	614	1,065	1,679
			こしの機能アップ教室	--	342	762	1,104
			股関節の機能アップ教室	--	104	--	104
			ひざの機能アップ４名教室	--	--	265	265
			こしの機能アップ４名教室	--	--	145	145
			股関節の機能アップ４名教室	--	--	111	111
			サルコペニア予防教室	--	--	705	705
			高齢者のための体力づくり教室	277	1,343	647	2,267
			高齢者のための体力づくり教室(中島)	218	--	--	218
			高齢者のためのフレイル予防教室	264	--	--	264
			高齢者のためのフレイル予防教室(中島)	207	--	--	207
			高齢者のための筋トレ教室	1,139	--	1,201	2,340
			高齢者のための筋トレ教室(中島)	1,121	--	--	1,121
			高齢者のための筋トレ８名教室	--	--	2,455	2,455
			リハビリ専門家の体力回復教室	509	--	--	509
			リハビリ専門家の体力回復教室(中島)	676	--	--	676
			リハビリ専門家の体力づくり教室	87	--	--	87
			シェイプアップフィットネス	412	--	--	412
			初めての筋活教室	--	279	1,068	1,347
			生活習慣改善運動教室	--	--	403	403
			健康講座(講話+実技)	73	34	21	128
		支援	特定保健指導	2	--	--	2
			栄養バランス相談	1	--	--	1
			禁煙支援プログラム	--	--	--	--
			呼気中一酸化炭素濃度チェック	--	--	--	--
			Ｅメール健康相談	5	--	--	5
		講座	健康講座(講話)	33	--	16	49
	その他	協力	インターンシップ・見学	133	238	220	591

その他（センター施設利用者数に反映されていない健診・指導等）　（人）

	区　分			中央	東	西	合 計
その他	指定管理	保健相談	測定者・一般相談	1,064	--	--	1,064
		栄養相談	測定者・一般相談	1,115	--	--	1,115
		理学療法	測定者・一般相談	1,029	--	--	1,029
		運動指導	個別運動指導	126	52	386	564
	受託	大腸がん検診		69	--	--	69
		前立腺がん検診		11	--	--	11
		緊急肝炎ウイルス検査（同時）		202	--	--	202
		緊急肝炎ウイルス検査（単独）		44	--	--	44
		特定保健指導	保健・栄養・運動	53	--	--	53
	自主	簡易セット・追加検査（血液）等		156	--	--	156
		診断書作成		13	--	--	13
		頚動脈エコー検査		166	--	--	166
		骨密度測定		100	--	--	100
		BNP 検査		43	--	--	43
		足腰元気度チェック		24	--	--	24
		HbA1c		119	--	--	119
		血液型検査（ABO 式・RH 式）		6	--	--	6
		胃がんリスク検査（ABC 検診）		48	--	--	48
		PSA 検査（前立腺がん検診）		9	--	--	9
		安静時心電図検査		49	--	--	49
		特定保指導	保健・栄養・運動	3	--	--	3
	合　計						4,887

施設外指導・協力　（人）

	区　分			中央	東	西	合 計
その他（施設外分）	指定	運動指導員派遣	各区保健センター	56	--	351	407
	自主	派遣事業	運動指導員	609	--	170	779
	合　計						1,186

V　施設の使用承認等

1　利用料金の徴収

各健康づくりセンターにおける利用料金の額及び収受状況については、次のとおり。

施設	区　分		利用料（円）	利用件数（件）	収受合計（円）
中央	健康度測定	一般コース（さぽーと利用券 5 件含む） ※当協会負担分 1 件につき 500 円	8,000	59	472,000
		簡易コース（さぽーと利用券 15 件含む） ※当協会負担分 1 件につき 500 円	3,000	788	2,364,000
		特定簡易コース	3,000	213	639,000
	体力測定コース		2,500	19	47,500
	女性のフレッシュ健診		2,000	554	1,108,000
	運動指導室	減額利用者（1 回）	200	8,393	1,678,600
		1 回券	390	2,341	912,990
		回数券（6 枚綴） ※うち共済券利用 123 枚	1,950	1,945	3,792,750
	小　計				11,014,840
東	運動指導室	減額利用者（1 回）	100	4,261	426,100
		1 回券	200	1,700	340,000
		回数券（6 枚綴） ※うち共済券利用 294 枚	1,000	3,388	3,388,000
	小　計				4,154,100
西	運動指導室 運動スタジオ ウォーキングデッキ	減額利用者（1 回）	200	19,742	3,948,400
		1 回券	390	7,626	2,974,140
		回数券（6 枚綴） ※うち共済券利用 918 枚	1,950	9,674	18,864,300
	小　計				25,786,840
合　計					40,955,780

2 利用料金の減額及び免除

札幌市健康づくりセンター使用料減免取扱要領(平成 5 年 8 月 31 日衛生局長決裁)に定められた事項に基づき、使用承認を行った。

区　　分	施設	内容	免除・減免数(人)
第 3 条第 2 項(抜粋) 健康度測定一般コース又は健康度測定簡易コースを受けた者で前条各号(重視する対象者)のいずれかに該当するものは、検査の日から 1 年間、所定の使用料から減額する。ただし、健康度測定コースを初めて受けたものは、検査の日から 6 ヶ月間については使用料を免除する。 ※中央・西センターは 190 円、東センターは 100 円を減額	中央	免除	2,192
		減額	8,761
	東	免除	915
		減額	4,145
	西	免除	5,144
		減額	19,332
合　計			40,489

3 収支報告

収支決算書　別紙のとおり

・様式1　総括表
・様式2　収入
・様式3　支出
・様式4　人件費
・様式5　物件費

Ⅵ 利用促進に係る業務

1 供用期間・時間の拡大

(1)開館時間の延長

施設	内　　容
中央	火～土曜日の開館時間を8時 30 分に変更(健診フロア)
	毎週火～日の利用開始時間9時 30 分を9時に変更(運動フロア)
東	毎週火～日の利用開始時間9時 30 分を9時に変更
西	毎週火～日の利用開始時間9時 30 分を9時に変更

(2)開館日増設

施設	内　　容	
中央	健診休業日(日曜・祝日)	健康度測定を実施(3/10)
		女性のフレッシュ健診を実施(3/10)
西	月曜休館日	西区健康づくりフェアを開催(9/25)

2 広報業務

広報さっぽろ、新聞、テレビ等による広報

月	内　　容
5 月	STV ラジオ　＊体組成測定後に運動指導を実施
1 月	HBC テレビ　＊札幌市敬老パスについての特集
7 月 10 月 2 月	三角山放送局「八軒まちづくり情報交流センターだより」出演

Ⅶ 統括管理業務

1 札幌市及び関係機関との連絡調整

(1)札幌市健康づくりセンター運営協議会

協議会において業務管理の状況の報告、管理運営上の問題点や改善に関する事項や管理水準の維持向上に向けた協議を行った。

	第１回	第２回	第３回	第４回
月日	6/14	8/9	11/22	3/6

(2)西センターにおける関係機関との連絡調整

月日	内　　容
5/25	八軒まちづくり協議会全体会
8/28、2/26	八軒まちづくりセンター・八軒会館と合同で自衛消防訓練を実施
1/13	八軒連合町内会新年交礼会
不定期	西区定例会議に職員出席

2 職員研修

日常の指導業務等に役立てるため、健康づくりに関する知識及び技術の習得を目的に定期的に職員研修を開催し、全体のスキルアップを図った。

研修名	月日	テーマ	参加数(人)
専門職研修	8/7	プレゼンテーション技法(中央)	11
	10/11	健康運動指導士更新必修講座(中央・西)	4
	2/6	地域保健関係職員研修:札幌市 zoom 研修(中央)	5
	2/27	運動指導従事者研修(中央・西)	9
認定研修	6/20、21	甲種防火管理者新規講習(中央)	1
	7/5	不当要求防止責任者講習(中央)	1
職員研修	6/19	接遇・接客研修(東・西)	18
	6/19	事故対応シミュレーション(東・西)	18
	7/7	新規採用契約職員研修(中央)	1
	8/7	接遇・接客研修(中央)	17
	11/2	ホームページ担当者研修(西・東)	2
	11/20	普通応急手当講習Ⅰ(西・東)	18
	12/28	情報セキュリティとコンプライアンス研修(中央)	1
	2/15	メンタルヘルス研修(中央・西)	3
	2/20	中堅職員研修(西)	1
	2/22	中堅職員研修(中央)	1
	2/26	事故対応シミュレーション(中央)	18
	3/6	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割(中央)	1

3 アンケート調査の実施

利用者の意見、要望、満足度を把握し、業務の改善に反映させるため、「札幌市公共スポーツ施設満足度調査」を実施した。

(1)調査件数

中央	西	東	合計
202 件	373 件	212 件	787 件

(2)調査結果

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 利用時間帯(開館～閉館)の設定	315	333	111	20	2	6
	40.0%	42.3%	14.1%	2.5%	0.3%	0.8%
2 設備・サービスに見合った利用料金	326	287	132	31	5	6
	41.4%	26.5%	16.8%	3.9%	0.6%	0.8%

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
3 施設内の利用案内のわかりやすさ	271 34.4%	307 39.0%	189 24.0%	5 0.6%	0 0.0%	15 1.9%
4 ホームページのわかりやすさ、見やすさ	149 18.9%	231 29.4%	269 34.2%	26 3.3%	0 0.0%	112 14.2%
5 運動器具・用具の種類の豊富さ	141 17.9%	294 37.4%	259 23.9%	62 7.9%	6 0.8%	25 3.2%
6 運動器具・用具の数の豊富さ	140 17.8%	279 35.5%	273 34.7%	62 7.9%	6 0.8%	27 3.4%
7 運動器具・用具の手入れの行き届き具合	197 25.0%	313 39.8%	232 29.5%	20 2.5%	3 0.4%	22 2.8%
8 運動施設の照明の明るさ	262 33.3%	310 39.4%	195 24.8%	7 0.9%	0 0.0%	13 1.7%
9 運動施設の室温の快適さ	244 31.0%	292 37.1%	180 22.9%	49 6.2%	7 0.9%	15 1.9%
10 施設の全般的な清潔さ(トイレ・シャワー・更衣室等)	183 24.5%	279 35.5%	237 30.1%	51 6.5%	9 1.1%	28 3.6%
11 トイレ設備の快適さ(洋式、洗浄便座等)	193 24.5%	246 31.3%	252 32.0%	73 9.3%	14 1.8%	9 1.1%
スタッフサービス満足度	大変よい	まあ良い	普通	あまり良くない	悪い	回答なし
1 施設スタッフの応対の迅速さ	489 62.1%	239 30.4%	57 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.3%
2 施設スタッフの応対の親切さ	507 64.4%	226 28.7%	49 6.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.6%
3 施設スタッフのスポーツに関する専門知識	403 51.2%	256 32.5%	93 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	35 4.4%
総合的満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1 本施設に対する総合的な満足度について	274 34.8%	409 52.0%	87 11.1%	10 1.3%	0 0.0%	7 0.9%

(3)要求水準に対する結果

項目	満足度	件数	計算方法	要求水準
接遇満足度	100.0%	2,120 件	【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』	80.0%
		2,120 件	【スタッフサービス満足度】『大変よい』+『まあ良い』+『あまり良くない』+『悪い』	
総合満足度	98.6%	683 件	【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』	80.0%
		693 件	【総合的満足度】『とても満足』+『まあ満足』+『少し不満』+『不満』	

4 施設・設備等の維持管理

(1)修繕 (税込)

施設	月日	内　　容		金額(円)
中央	3/12	ウェルバイク修理		77,638
	小 計		1 件	77,638
東	6/10	トレッドミル・コンビバイク修繕		16,500
	11/24	レッグプレス修繕		16,500
	小 計		2 件	33,000
西	6/13	コンビバイクサドル修繕		39,270
	9/5	コンビバイク修繕		56,804
	9/28	男性シャワー室折戸交換修繕		109,890
	10/13	エレベーター床マット交換修繕		71,500
	小 計		4 件	277,914
合　計			7 件	388,552

(2)備品更新 (税込)

施設	月日	内　　容	金額(円)
		中央健康づくりセンター改修工事終了に合わせ機器更新を行うため、令和 5 年度の更新を見送った。	
合　計			0

（3）機器点検

施設	月日	内　　容
中央	7/10	運動フロア等　トレーニング機器
	10/11	健診用　検査・測定機器（運動負荷心電図検査装置など）
東	8/21	運動フロア　トレーニング機器
西	7/31	運動フロア等　トレーニング機器

5　防災業務

月日	内　　容
8/7	消防・避難訓練①（中央）
8/28	自衛消防訓練①　八軒まちづくりセンターと合同実施（西・東）
11/20	普通応急手当講習（東・西）
12/4	普通応急手当講習（中央）※西健康づくりセンターにて実施
2/26	自衛消防訓練②　八軒まちづくりセンターと合同実施（中央・西・東）

添付資料

Ⅰ　団体の運営状況を表す事業報告
・事業報告書

Ⅱ　団体の経営状況を表す財務諸表
・収支決算書

様式1　令和5年度　健康づくりグループ収支決算書(総括表)

単位：円
税込

1　収入

項目		予算額	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	103,465,000	103,465,000	
	利用料金収入	27,716,000	40,955,780	
	雑収入	－	－	
	その他収入	－	－	
	指定管理収入小計 (A)	131,181,000	144,420,780	
自主事業収入 (B)		72,575,000	55,132,485	
受託事業収入 (C)		－	4,031,684	
収入計 (A)+(B)+(C)		203,756,000	203,584,949	

2　支出

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	3,944,000	2,240,267	
		物件費	667,000	302,425	
		小計	4,611,000	2,542,692	
	事業費	人件費	97,894,000	108,575,645	
		物件費	34,671,000	27,521,995	
		小計	132,565,000	136,097,640	
	指定管理支出小計 (D)		137,176,000	138,640,332	
自主事業	管理費	人件費	2,149,000	1,685,613	
		物件費	362,000	227,549	
		小計	2,511,000	1,913,162	
	事業費	人件費	43,979,000	35,231,916	
		物件費	24,220,000	18,185,808	
		小計	68,199,000	53,417,724	
	自主事業支出小計 (E)		70,710,000	55,330,886	
受託事業	管理費	人件費	－	484,896	
		物件費	－	65,459	
		小計	－	550,355	
	事業費	人件費	－	4,862,789	
		物件費	－	1,392,612	
		小計	－	6,255,401	
	受託事業支出小計 (F)		－	6,805,756	
支出計 (D)+(E)+(F)			207,886,000	200,776,974	

3　収支

項目	予算額	決算額	備考
指定管理業務収支差 (A)-(D)	-5,995,000	5,780,448	
自主事業収支差 (B)-(E)	1,865,000	-198,401	
受託事業収支差 (C)-(F)	－	-2,774,072	
施設収支合計	-4,130,000	2,807,975	

自主事業等による利益還元	－		
法人税等(法人税、住民税及び事業税)	28,000	24,000	法人税

注)
1　施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
2　収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
3　支出の表は、様式3に基づき作成してください。
4　収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

様式2　令和5年度　健康づくりグループ収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:円
「税込」

施設名	料金区分	決算額	備考
中央健康づくりセンター	個人利用	11,014,840	
	専用利用		専用利用なし
	計	11,014,840	
西健康づくりセンター	個人利用	25,786,840	
	専用利用		専用利用なし
	計	25,786,840	
東健康づくりセンター	個人利用	4,154,100	
	専用利用		専用利用なし
	計	4,154,100	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
総計		40,955,780	

注) 1　行が足りない場合は、適宜追加してください。
　　2　原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位:円
「税込」

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	103,465,000	
	雑収入	-	
	その他収入	-	
	指定管理業務事業収入計	103,465,000	
自主事業	健康・スポーツ情報提供事業	92,000	
	健康・体力づくり相談事業	53,364,270	
	物品販売等事業	1,676,215	
	自主事業収入計	55,132,485	
受託事業	健康・スポーツ行事受託事業	4,031,684	
		-	
		-	
	受託事業収入計	4,031,684	
事業収入計		162,629,169	

注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
3 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3　令和5年度　健康づくりグループ収支決算書(支出)

単位:円

「税込」

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,895,540	77,459,295	1,426,235	24,764,016	410,282	3,322,446
	臨時雇賃金	－	17,620,608	－	6,146,453	－	957,902
	法定福利費	322,861	12,425,137	242,925	3,994,475	69,882	535,168
	福利厚生費	21,866	1,070,605	16,453	326,972	4,732	47,273
	人件費計	2,240,267	108,575,645	1,685,613	35,231,916	484,896	4,862,789
物件費	仕入高	－	－	－	67,293	－	－
	報酬	20,708	45,861	15,581	8,085,120	4,482	－
	教育研修費	－	128,709	－	－	－	－
	報償費	－	－	－	72,809	－	－
	会議費	204	105	154	－	44	－
	交際費	7,222	－	5,434	1,884	1,564	－
	旅費交通費	8,679	259,403	6,530	6,056	1,879	－
	通信運搬費	1,788	783,929	1,345	75,720	386	38,186
	減価償却費	－	558,778	－	236,712	－	－
	消耗什器備品費	－	116,859	－	－	－	－
	消耗品費	13,669	3,120,483	10,285	773,127	2,959	214,945
	修繕費	－	581,705	－	－	－	－
	工事請負費	－	－	－	－	－	－
	印刷製本費	3,767	146,224	2,834	1,165	816	－
	燃料費	－	14,257	－	3,080	－	－
	光熱水費	－	－	－	－	－	－
	賃借料	－	401,193	－	139,714	－	－
	保険料	7,025	122,468	5,285	276,517	1,521	－
	諸謝金	166,524	126,975	125,296	125,763	36,043	－
	広告宣伝費	37,822	46,833	28,457	－	8,186	－
	租税公課	6,183	188,226	4,652	125,107	1,338	22,002
	負担金	16,680	99,000	12,550	－	3,611	－
	支払寄付金	－	－	－	－	－	－
	委託費	10,117	9,454,481	7,613	3,013,262	2,190	857,565
	支払給付金	－	－	－	－	－	－
	支払利息	－	8,128	－	－	－	－
	支払手数料	1,107	38,225	833	635,767	239	－
	雑費	930	30,884	700	12,084	201	－
	その他(消費税納付)	－	11,249,269	－	4,534,628	－	259,914
	物件費計	302,425	27,521,995	227,549	18,185,808	65,459	1,392,612
支出計		2,542,692	136,097,640	1,913,162	53,417,724	550,355	6,255,401

注)
1　行が足りない場合は、適宜追加してください。
2　原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3　管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
　・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
　・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
4　受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
5　自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5　令和5年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:円
「税込」

1　指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	－	－	
報酬	20,708	45,861	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
教育研修費	－	128,709	・事業費～本部経費按分(2.94%)
報償費	－	－	
会議費	204	105	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～本部経費按分(2.94%)
交際費	7,222	－	・管理費～本部経費按分(2.94%)
旅費交通費	8,679	259,403	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
通信運搬費	1,788	783,929	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
減価償却費	－	558,778	・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
消耗什器備品費	－	116,859	・事業費～本部経費按分(2.94%)
消耗品費	13,669	3,120,483	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
修繕費	－	581,705	・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
工事請負費	－	－	
印刷製本費	3,767	146,224	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
燃料費	－	14,257	・事業費～本部経費按分(2.94%)
光熱水費	－	－	
賃借料	－	401,193	・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
保険料	7,025	122,468	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
諸謝金	166,524	126,975	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～本部経費按分(2.94%)
広告宣伝費	37,822	46,833	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～本部経費按分(2.94%)

租税公課	6,183	188,226	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
負担金	16,680	99,000	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費
支払寄付金	－	－	
委託費	10,117	9,454,481	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
支払給付金	－	－	
支払利息	－	8,128	・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
支払手数料	1,107	38,225	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
雑費	930	30,884	・管理費～本部経費按分(2.94%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(2.94%)
その他	－	11,249,269	消費税納付分
計	302,425	27,521,995	

注)
1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

単位:円
「税込」

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	－	67,293	・事業費～施設経費
報酬	15,581	8,085,120	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費
教育研修費	－	－	
報償費	－	72,809	・事業費～施設経費
会議費	154	－	・管理費～本部経費按分(13.97%)
交際費	5,434	1,884	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～本部経費按分(13.97%)
旅費交通費	6,530	6,056	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
通信運搬費	1,345	75,720	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
減価償却費	－	236,712	・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
消耗什器備品費	－	－	
消耗品費	10,285	773,127	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
修繕費	－	－	
工事請負費	－	－	
印刷製本費	2,834	1,165	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～本部経費按分(13.97%)
燃料費	－	3,080	・事業費～本部経費按分(13.97%)
光熱水費	－	－	
賃借料	－	139,714	・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
保険料	5,285	276,517	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
諸謝金	125,296	125,763	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
広告宣伝費	28,457	－	・管理費～本部経費按分(13.97%)

租税公課	4,652	125,107	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
負担金	12,550	－	・管理費～本部経費按分(13.97%)
支払寄付金	－	－	
委託費	7,613	3,013,262	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
支払手数料	833	635,767	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
雑費	700	12,084	・管理費～本部経費按分(13.97%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(13.97%)
その他	－	4,534,628	消費税納付分
計	227,549	18,185,808	

注)
1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

単位:円
「税込」

3 受託事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	－	－	
報酬	4,482	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
教育研修費	－	－	
報償費	－	－	
会議費	44	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
交際費	1,564	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
旅費交通費	1,879	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
通信運搬費	386	38,186	・管理費～本部経費按分(55.95%) ・事業費～施設経費
減価償却費	－	－	
消耗什器備品費	－	－	
消耗品費	2,959	214,945	・管理費～本部経費按分(55.95%) ・事業費～施設経費
修繕費	－	－	
工事請負費	－	－	
印刷製本費	816	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
燃料費	－	－	
光熱水費	－	－	
賃借料	－	－	
保険料	1,521	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
諸謝金	36,043	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
広告宣伝費	8,186	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)

租税公課	1,338	22,002	・管理費～本部経費按分(55.95%) ・事業費～施設経費
負担金	3,611	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
支払寄付金	－	－	
委託費	2,190	857,565	・管理費～本部経費按分(55.95%) ・事業費～施設経費
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
支払手数料	239	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
雑費	201	－	・管理費～本部経費按分(55.95%)
その他	－	259,914	・消費税支払
計	65,459	1,392,612	

注)
1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

令和５年度

事　業　報　告　書

一般財団法人 札幌市スポーツ協会

1　地域スポーツ普及振興事業（5,732 事業 138,665 人）

(1) 教室事業・交流大会（5,643 事業　95,425 人）

ア　スポーツ教室事業（5,580 事業　85,120 人）

各施設において、技術の向上や健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウオーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した。プール施設における水泳事業では教室自動継続化を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した。（5,481 事業　78,983 人）。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそびい・ろ・は」などのスクール事業（32 事業　291 人）、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」（4 事業 39 人）を継続実施するとともに、「カーリング教室・体験会」「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室（52 事業 5,569 人）、施設間合同事業として市内を 9 グループに分けて施設を横断的に利用する多種目体験型教室「DO!スポKIDS」、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO スポ！シニア健康塾」（11 事業　238 人）など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

イ　スポーツ大会、スポーツイベント事業（63 事業　10,305 人）

各施設において、「スポーツの日無料開放」（25 事業 8,077 人）をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、カーリングのウインタースポーツ大会、教室受講生を対象としたダンス発表会などのイベント事業（33 事業　2,086 人）を開催した。

また、複数の管理施設合同の「泳力検定会」「ハンドボール交流戦」事業（5 事業 142 人）を開催した。

(2) 普及啓発事業（56 事業 16,058 人）

ア　ウインタースポーツ塾／受託事業（2 事業 8 種目 1,488 人）

札幌市からの受託事業として、市内の小学生を対象にウインタースポーツ 8 種目（アイスホッケー・フィギュアスケート・カーリング・リュージュ・スノーボード・スキージャンプ・クロスカントリースキー・ショートトラック）の体験会の企画・運営を担った。夏季 4 日間(4 種目 578 人)、冬季 5 日間（8 種目 910 人）実施し、計 1,488 人が参加した。

イ　さっぽろっ子スケートチャレンジ検定事業／受託事業（1 事業　933 人）

札幌市からの受託事業として小学生を対象に 3 会場（月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場）で全 29 回実施。933 人が参加し 1,130 枚の認定証が発行された。

ウ　歩くスキー常設コース事業／受託事業（2 事業　白旗山 2,565 人／中島公園 6,425 人）

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

エ　ウオーキングステーション事業（5 事業　14 コース　750 人）

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟（IVV）のイヤーラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

オ　スポーツキャラバン事業（39 事業　1,047 人）

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

(ｱ) 出前講習会として、イベントや企業における体組成測定や体力測定会を実施（7 事業 410 人）
(ｲ) 指導員派遣として、連合町内会などの講座へ指導員を派遣（3 事業 637 人）
(ｳ) ニュースポーツ用具のレンタルとして、イベント等への用具を貸出（29 事業）

カ　小学校水泳授業／受託事業（5 事業 2,394 人）

札幌市からの受託事業として、西区体育館温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、東温水プールの４施設において水泳授業を実施した。伏見小学校(680 人)、発寒南小学校(392 人)、東橋小学校(279 人)、東山小学校(473 人)、元町北小学校(570 人)。

キ　タグラグビー親子体験教室／受託事業（2 事業 456 人）

札幌市からの受託事業として、市内の小学生の親子対象で行うタグラグビー体験教室の企画・運営を担った。夏季は札幌ドームのホヴァリングサッカーステージ、冬は北ガスアリーナ札幌 46 と白石区体育館で実施し、延べ 456 人が参加した。

(3) 地域コミュニティ活性化事業（18 事業　19,973 人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し、指定管理施設では「手稲スポーツレクリエーション祭り」「東区健康スポーツまつり」「あつべつくスポーツチャレンジ」（10 事業、4,783 人）、指定管理施設以外では「花いっぱいプロジェクト」「新さっぽろ冬まつり」（7 事業、15,174 人）で地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、水難事故防止を呼び掛けることを目的とした啓発事業「着衣泳体験会」（1 事業 16 名）を実施した。

(4) 障がい者スポーツの普及促進事業（15 事業 7,209 人）

ア　札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市の障がい者スポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6 月・11 月・3 月開催）。

イ　障がい者スポーツ体験イベント／受託事業（2 事業 1,374 人）

(ｱ) 区体育館やプールなどの管理施設を会場とし、障がいのある方向けの体験会を 15 回実施した。うち 1 回は札幌ドームイベント「チャレンジ！スポーツパーク」内におけるブース開設とした。（1 事業 1,232 人）
(ｲ) 「雪にふれよう！わくわくウインターフェスタ冬季パラスポーツ体験会」として、月寒体育館・月寒屋外競技場にて、パラアイスホッケーとシットスキーの体験会を実施した。（1 事業 142 人）

ウ　冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業／受託事業（1 事業 41 人）

サッポロテイネなどを会場とし、シットスキーのサポーターとバイスキーの指導者を養成するとともに、実践の機会として体験会を実施した。

エ　パラスポーツ体験出張事業（12 事業 5,794 人）

(ｱ)「イオン de パラスポ」におけるボッチャ・クロリティ等体験コーナー運営（6 事業 4,659 人）
(ｲ) スペシャルオリンピックス日本・北海道「EKS DAY 2023」の共催（1 事業）
(ｳ)「さっぽろスポーツスノーフェスタ 2024」におけるシットスキー体験コーナー運営(1 事業 248 人)
(ｴ)「チャレンジパラスポーツフェスタ」におけるシットスキー等体験コーナー運営(1 事業 249 人)
(ｵ)「ウインタースポーツフェスティバル」におけるシットスキー体験コーナー運営(2 事業 441 人)
(ｶ) 札幌オリンピックミュージアム　GW イベントにおけるシットスキー体験コーナー運営（1 事業 197 人）

2　スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等（72 事業　34,860 人）

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの振興・普及・発展を図り、健康の維持増進と文化生活の向上に資することを目的に実施した。

ア　第 64 回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開 催 日：5 月 18 日（木）

会　　場：札幌サンプラザ　コンサートホール

参加者数：153 人

イ　市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部補助を行った。

事 業 数：49 事業（49 競技）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 1 競技は中止、3 競技は未実施。

参加者数：17,892 人（指定管理施設外：1,439 人）

(2) 第 46 回北海道を歩こう

真駒内から支笏湖までのサイクリングコースを歩く、ウオーキングのイベントを実施した。

開 催 日：5 月 21 日（日）

会　　場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種　　目：33 ㎞、10 ㎞

参加者数：781 人

(3) 6 時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2023

1 周 2 ㎞の札幌ドーム特設コースをチームで走る、リレーマラソンの大会を実施した。

開 催 日：7 月 16 日（日）

会　　場：札幌ドーム

種　　目：6 時間リレーマラソン、42.195km リレーマラソン

参加者数：4,268 人

(4) 第 48 回札幌マラソン

真駒内セキスイハイムスタジアムをメイン会場としたマラソン大会を実施した。

開 催 日：10 月 1 日（日）

会　　場：真駒内セキスイハイムスタジアム～

種　　目：ハーフマラソン、10 ㎞、ファンペア他

参加者数：10,238 人

(5) 第 44 回札幌国際スキーマラソン

クロスカントリースキーの普及進行を目的とした国際連盟「ワールドロペット」に国内で唯一加盟する大会を実施した。

開 催 日：2 月 4 日（日）

会　　場：白旗山競技場及び周辺コース

種　　目：スキーマラソン 50 ㎞・25 ㎞、歩くスキー10 ㎞・4 ㎞

参加人数：792 人（国内 667 人、国外 125 人）

(6) スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業（13 事業　736 人）

国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

ア　国際大会誘致・合宿受入支援事業（3 事業　207 人）

(ｱ) どうぎんカーリングクラシック 2023　車いすカーリング国際親善試合・体験会　参加者数：26 人

(ｲ) TOKIO インカラミ presents PARKOUR PREMIER CUP 2023 in 札幌　参加者数：121 人

(ｳ) 2024 トヨタ FIS パラアルペンスキーワールドカップ札幌大会　参加者数：60 人

イ　スポーツツーリズム推進事業（5 事業　236 人）

(ｱ) 観光コンテンツ造成（ナイトクロスカントリー　in 中島公園）　参加者数：236 人

(ｲ) 海外プロモーション事業

豪州向け事業（Snow Travel Expo 2023 出展）、米国向け事業（Snowbound expo 出展）、台湾向け事業（高雄マラソンにおける PR ブース設置）、シンガポール向け事業（NATAS TRAVEL 2024 出展）

ウ　マラソンツーリズム推進事業（4 事業 293 人）

(ｱ) 街 RUN 中島公園　利用者数：251 人

(ｲ) 街 RUN 中島公園 Winter　利用者数：12 人

(ｳ) ランニングイベント「冬 RUN！中島公園」　参加者数：30 人

(ｴ)「さっぽろ街ラン HP 」「さっぽろ街ランガイド」の多言語化

エ　スノーリゾート事業

定山渓温泉（JZK）をベースにした広域スキー並びにアフタースキーコンテンツ確立事業

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業

ア　スポーツボランティア登録状況・広報

スマイルサポーターズ登録管理、ボランティア登録者数の増加に向けたプロモーション、会報誌「With Smile」の発行、市内大学の講義による若年層の裾野の拡大

イ　スポーツボランティア派遣・研修会

大会・イベントへの派遣、研修会の実施、小学校スキー学習支援事業、シットスキー支援

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア　北海道マラソン 2023　　8 月 27 日（日）

イ　ほっかいどう大運動会 2024　　2 月 18 日（日）

ウ　札幌市室内陸上競技大会　　3 月 17 日（日）

3　競技力向上・普及促進事業（345 事業　11,818 人）

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体等との連携、支援に関する事業（1 事業 67 人）

ア　加盟競技団体への支援など

加盟競技団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟競技団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行った。

また、加盟競技団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

加盟競技団体理事長・事務担当者会議

開 催 日：3 月 8 日（金）

会　　場：北海道立総合体育センター

内　　容：令和 6 年度各種補助金事業取扱について 他

イ　スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人 北海道スポーツ協会及び北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

(2) 競技力向上・普及促進事業（88 事業 10,161 人 ）

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア　競技力向上指導者講習会（1 事業　91 人）

開 催 日：2 月 22 日（木）

会　　場：ホテルライフォート札幌　4階「アニマート」
内　　容：『指導者と歩んだオリンピック　そして今』
講　　師：村田　諒太（元WBA世界ミドル級スーパー王者）
須佐　勝明（2012ロンドンオリンピック フライ級 日本代表）
参加者数：91人

イ　競技力向上事業（58事業　7,888人）

(ｱ) 加盟競技団体が行う選手強化育成事業への経費補助
（27 団体 51事業、参加者6,285 人 指導者888 人）（指定管理施設外：3,360人）

(ｲ) 加盟競技団体が行う指導者育成事業への経費補助
（5 団体 7 事業、参加者583 人 指導者132 人）（指定管理施設外：37人）

ウ　普及促進事業（29事業 2,182人）

(ｱ) 加盟競技団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助
（11 団体 18 事業、参加者862 人 指導者197 人）（指定管理施設外：286人）

(ｲ) 加盟競技団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助
（9 団体 11 事業、参加者832 人 指導者291 人）（指定管理施設外：662人）

(3) さっぽろアスリートサポート事業（71団体244事業909人）

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア　市民スポーツ振興事業（1団体 1事業 32人）

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。
（All JAPAN AMATEUR KICKBOXING CHAMPIONSHIPS 2023北海道予選大会）

イ　スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業（36団体 209事業 464人）

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(ｱ) 国際スポーツ大会助成（世界クラシック＆エクイップベンチプレス選手権大会～伊藤貴裕／1位、第2次スノーボード競技(AL)タレント発掘育成事業遠征～住永翔吾ほか）

(ｲ) 全国規模大会助成（2023全国U12フロアボールフレンドシップ大会～SP平岸／優勝、JOCジュニアオリンピックカップ2024全日本ジュニアスキー選手権大会～菊池奏汰／大回転5位ほか）

ウ　青少年冬季スポーツ振興事業（34団体 34事業 413人）

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。（札幌ジュニアバイアスロンクラブ、札幌クリスタルフィギュアスケーティングクラブほか）

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業（12事業681人）

札幌市から次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、オリンピック出場を目指し、ジュニア世代の選手の発掘・育成を行った。

ア　発掘事業（3事業　561人）

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストやセレクションを行い、スポーツ戦略アドバイザー（阿部雅司氏）を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として8名選出した。

(ｱ) 6月4日（日）サマージャンプ体験会（荒井山シャンツェ）参加者数25人

(ｲ) 12月16日（土）スポーツ能力測定会（北ガスアリーナ札幌46）参加者数508人

(ｳ) 2月17日（土）第3期発掘プロジェクト選考会（中島体育センター）参加者28人（8人選出）

イ　さっぽろジュニアスリート発掘プロジェクト（1 事業 27 人）

発掘プロジェクト選考会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、育成 8 種目に特化したトレーニングや座学を実施した。また、育成事業の選手との合同研修会や種目練習会でレベルアップを図った。

ウ　育成事業(8 事業 93 人)

冬季 5 種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディックコンバインド）・夏季 3 種目、（陸上、バドミントン、テニス）の競技団体と連携し、長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・国外合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

【全育成種目による合同研修会】

(ｱ) 6 月 18 日(日)トレーニング実践①（北区体育館）

(ｲ) 8 月 12 日（土）トップアスリート研修会（中島体育センター）

(ｳ) 10 月 25 日（水）・26 日（木）スポーツ栄養セミナー（中島体育センター／オンライン）

(ｴ) 11 月 11 日（土）トレーニング実践②（豊平区体育館）

(ｵ) 2 月 28 日（水）メンタルトレーニング講習会（中島体育センター）

(5) トップアスリート活用の取り組み

ウインタースポーツのすそ野の拡大や競技力向上を図ることを目的に、名誉館長として月寒体育館に藤本那菜氏、どうぎんカーリングスタジアムに小笠原歩氏を配置し、一般開放における利用者との触れ合いや教室受講生への指導を行ったほか、カーリング愛好者を対象とした交流大会を実施した。美香保体育館ではトップアスリートである小塚崇彦氏による初心者向けスケート体験会を実施した。

4　スポーツ少年団の普及・育成事業（31 事業 9 団体 9,090 人）

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った（登録数 198 団 3,875 人）。

(1) 派遣事業（9 事業　86 人）

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア　第 50 回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）

開　催　日：7 月 25 日（火）～8 月 14 日（月）

会　　場：ベルリン・ブランデンブルグ

参 加 者 数 ： 1 人

イ　第 62 回全国スポーツ少年大会

開　催　日：8 月 3 日（木）・4 日（金）

参 加 者 数 ：2 人

※ 台風 6 号の影響により、前泊地神戸に渡航後、中止が決定となる。

ウ　令和 5 年度北海道スポーツ少年団リーダー研修会

開　催　日：2 月 23 日（金祝）・24 日（土）

会　　場：北海道青少年会館「コンパス」

参 加 者 数 ：2 人

エ　北海道冬のスポーツ交歓交流会（北海道スポーツ少年大会代替事業）

開　催　日：2 月 24 日（土）～25 日（日）

会　　場：北海道青少年会館「コンパス」

参 加 者 数 ：9 人

オ　第38回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会

開　催　日：7月15日（土）～17日（月祝）

会　　場：旭川ドリームスタジアム他

参加者数：：1チーム（18人）

カ　第21回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開　催　日：11月18日（土）・19日（日）

会　　場：深川市総合体育館他

参加者数：団体男子1チーム（11人）、女子1チーム（10人）

キ　第38回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開　催　日：12月10日（日）

会　　場：千歳市開基記念総合武道館

参加者数：団体2チーム（10人）、個人男子2名、個人女子：2人

ク　第45回日本スポーツ少年団軟式野球交流大会

開　催　日：8月4日（金）・5日（土）

会　　場：千葉県大谷津運動公園野球場他

参加者数：1チーム（14人）

ケ　第46回日本スポーツ少年団剣道交流大会

開　催　日：3月29日（金）～31日（日）

会　　場：群馬県ALSOKぐんま総合スポーツセンター

参加者数：1チーム（5人）

(2) リーダー養成・育成事業（2事業　19人）

ア　札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会

開　催　日：10月7日（土）・8日（日）

会　　場：深川市ネイパル深川

参加者数：3人

内　　容：創作体験づくり（サイコロロボット、牛乳パックホットサンド、ペットボトルピザ）、班別対抗スポーツフェスタ、リーダー活動についての意見交換、先輩リーダーからの体験談発表、ニュースポーツ体験　等

そ　の　他：深川市スポーツ少年団（指導者1名 団員7名）との交歓交流事業として実施

イ　札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開　催　日：12月2日（土）

会　　場：中島体育センター

参加者数：16人

内　　容：講義「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」
実技「運動適性テスト」

講　　師：講義…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター　島本　俊男　氏
実技…スポーツ少年団体力テスト認定員　三浦　淳　氏

(3) 各種目交流大会（11種目17事業　8,963人）

軟式野球（2事業 2,320人）、サッカー（2事業 982人）、ミニバスケットボール（2事業 3,656人）、剣道（2事業 1,134人）、空手（1事業 147人）、バドミントン（2事業 315人）、少林寺拳法（1事業 76人）、冬季スポーツ（2事業 112人）、バレーボール（1事業 72人）、ソフトテニス（1事業 50人）、綱引（1事業 99人）競技の交流大会を開催した。

(4) 指導者育成事業（2 事業 20 人）

ア 「JSPO 公認コーチングアシスタント」への資格移行手続き講習会の開催

開　催　日：第 1 回 8 月 23 日（水）　第 2 回 11 月 14 日（火）・11 月 18 日（土）

会　　場：中島体育センター

参 加 者 数：8 人

内　　容：旧「スポーツ少年団認定員」資格保有者を対象とし、マイページ作成から資格移行手続きまでを実践する。

そ　の　他：全日程、2 区分の時間設定を行い募集

イ 指導者・母集団研修会の開催

開　催　日：2 月 17 日（土）

会　　場：中島体育センター

参 加 者 数 ：12 人

内　　容：「トップアスリートの親から学ぶ～求められる保護者のサポート～』

講　　師：熊谷 敏夫 氏（AS ローマ所属 熊谷紗希さん 父）

前 淳一 氏（レノファ山口 FC 所属 前貴之さん・アビスパ福岡所属 前寛之さん 父）

そ　の　他：令和 6 年度登録、スポーツ少年団指導者資格についての事務説明

(5) 表彰（1 事業　2 団体 2 人）

札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：2 団体、育成者の部：2 人

5 健康・体力づくり推進事業（健康づくりセンター 429 事業 44,858 人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（54 事業　36,624 人）

ア 健康増進・健診事業（8 事業　4,841 人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4 事業　1,079 人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない 18 歳から 39 歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4 事業　3,762 人）。

イ 運動指導事業（46 事業　31,783 人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム（26 事業　30,812 人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3 事業　564 人）。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った（17 事業　407 人）。

(2) 健診・指導事業／受託事業（8 事業　366 人）

ア 健診事業（4 事業　352 人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（4 事業　14 人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（367 事業　7,868 人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（251事業　5,456 人）のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（88 事業　856 人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した（28 事業　1,556 人）。

このほか、令和５年 10 月からの中央健康づくりセンター改修工事休館による自主事業休止に伴い、教室受講者等の運動継続を目的に、中島体育センターにて健康サポート教室を実施した（44 事業　621 人：自主事業に含めず）。

６　施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況／指定管理事業（単位：人）

ア　札幌市体育館グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
北ガスアリーナ札幌４６		92,355	170,203	262,558
中島体育センター		46,799	66,504	113,303
北区体育館		72,774	47,960	120,734
東区体育館		70,031	54,980	125,011
白石区体育館		77,989	85,284	163,273
厚別区体育館		62,331	82,166	144,497
豊平区体育館		59,786	70,418	130,204
清田区体育館・温水プール		124,252	82,049	206,301
	体育館	71,464	54,514	125,978
	プール	50,272	27,535	77,807
	体育館・プール共通	2,516	－	2,516
白旗山競技場		2,980	20,159	23,139
南区体育館		65,727	54,257	119,984
西区体育館・温水プール		182,761	85,200	267,961
	体育館	106,263	61,347	167,610
	プール	74,296	23,853	98,149
	体育館・プール共通	2,202	－	2,202
宮の沢屋内競技場		6,678	30,815	37,493
手稲区体育館		75,509	64,237	139,746
合計		939,972 （前年度　1,095,120）	914,232 （前年度　355,087）	1,854,204 （前年度　1,450,207）

※北区体育館：競技室天井の保全工事のため R5.9～R6.3 競技室のみ休館

※白石区体育館：競技室床面の保全工事のため R5.8～R5.9　競技室のみ休館

イ　札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
東温水プール	73,442	30,701	104,143
白石温水プール	40,784	40,093	80,877
厚別温水プール	21,906	2,382	24,288
豊平公園温水プール	31,896	28,791	60,687
平岸プール	84,949	54,816	139,765
手稲曙温水プール	54,691	31,242	85,933
合計	307,668 （前年度　536,387）	188,025 （前年度　27,950）	495,693 （前年度　564,337）

※厚別温水プール：札幌市による保全工事のため R5.7～R6.3 休館

ウ　札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
体育館	4,965	33,153	38,118
スケート場	23,203	10,452	33,655
公園野球場	－	40,521	40,521
合計	28,168 （前年度　31,089）	84,126 （前年度　75,321）	112,294 （前年度　106,410）

エ　札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	55,450	84,783	140,233
体育館	26,703	4,155	30,858
スケート場	28,747	80,628	109,375
月寒屋外競技場	558	16,924	17,482
ラグビー場	－	10,004	10,004
庭球場	－	6,188	6,188
弓道場	558	732	1,290
どうぎんカーリングスタジアム	－	45,532	45,532
星置スケート場	6,744	14,428	21,172
合計	62,752 （前年度　77,053）	161,667 （前年度　151,293）	224,419 （前年度　228,346）

※どうぎんカーリングスタジアム：札幌市による保全工事のため R6.2～R6.3 休館
※星置スケート場：天井断熱材脱落対策等による改修のため R5.4～R5.10 休館
落氷防止対策等による改修のため R6.3 休館

オ　札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	25,242	193,098	218,340
野球場	－	103,546	103,546
陸上競技場	22,278	43,854	66,132
庭球場	－	45,660	45,660
補助競技場	－	－	0
スケート場	2,964	38	3,002
麻生球場	－	52,917	52,917
野球場	－	50,487	50,487
庭球場	－	2,430	2,430
厚別公園競技場	30,222	175,745	205,967
主競技場	20,713	169,850	190,563
補助競技場	676	5,895	6,571
トレーニングルーム	8,314	－	8,314
共通	519	－	519
平岸庭球場	－	18,983	18,983
合計	55,464 （前年度　58,630）	440,743 （前年度　400,162）	496,207 （前年度　458,792）

カ　札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計
屋内グラウンド	67,008	803,376	870,384
屋外テニスコート	－	10,620	10,620
パークゴルフ場	10,525	181	10,706
屋外球技場	－	4,338	4,338
イベント広場	－	5,673	5,673
合計	77,533 （前年度　73,881）	824,188 （前年度　222,202）	901,721 （前年度 296,083）

※４年ぶりにさっぽろ雪まつり「つどーむ」会場として開催

（単位：人）

体育施設合計	4,084,538 前年度（3,104,175）

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況／指定管理事業（単位：人）

施　設　名	個人利用	専用利用	合　計
中央健康づくりセンター	44,761	－	44,761
東健康づくりセンター	34,791	－	34,791
西健康づくりセンター	121,217	－	121,217
合　計	200,769 （前年度 212,262）	－ （前年度　－　）	200,769 （前年度 212,262）

※中央健康づくりセンター：札幌市による保全工事のため R5.10～R6.3 休館

【全施設合計(1)+(2)】　（単位：人）

今年度利用者数	4,285,307
前年度利用者数	3,321,652
増　減	963,655

(3) 学校施設の開放事業／受託事業（単位：人）

ア　センター管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合　計
開放校数	169 校	25 校	17 校	16 校	227 校
開放期間	通年	5 月～9 月	通年	通年	—
利用者数	582,770 （前年度　532,193）	12,423 （前年度　11,559）	18,180 （前年度　18,776）	5,162 （前年度　7,695）	618,535 （前年度　570,223）

イ　自主管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	合　計
開放校数	107 校	2 校	109 校
開放期間	通年	5 月～10 月	—
利用者数	606,675 （前年度　561,163）	443 （前年度　306）	607,118 （前年度　561,469）

ウ　プール開放の利用状況／指定管理事業

施設区分	プール
開放校数	31 校
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	4,824 （前年度　1,185）

【学校施設の開放合計 ア+イ+ウ】（単位：人）

今年度利用者数	1,230,477
前年度利用者数	1,132,877
増　減	97,600

7　情報提供及び調査研究事業

(1) 加盟団体情報の収集・提供

当協会ホームページにおいて各加盟競技団体の基本情報を紹介するとともに、ホームページの相互リンクを行い、利用者の利便性を向上した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

SNS、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっぱーなど）。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(5) お客様満足度の調査並びに情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況等について集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見等を収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

8　社会貢献事業等

(1) スポーツ経営人材の育成及び活用

ア　施設運営管理者の育成事業

公益財団法人日本スポーツ施設協会との連携による「公認スポーツ施設管理士養成講習会」（27 人参加）を実施。健康・スポーツ施設の運営管理者を育成した。

また、スポーツボランティアの育成支援として、協会ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

イ　「事業連携包括協定」の締結と協働事業

北翔大学との「事業連携包括協力協定」により、大会の運営に学生が携わった（5 大会 108 人）。

ウ　インターンシップ受入事業

インターンシップや職場体験学習を受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した

(2) スポーツを通じた社会貢献事業

ア　プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ｱ) パートナー契約の締結

北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道、レバンガ北海道、北海道イエロースターズ、アルテミス北海道、ノルディーア北海道、

(ｲ) 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドールズ」と「チアダンス教室」を協働開催した。

(ｳ) 手稲区体育館にてコンサドーレサッカースクールを協働開催した。

(ｴ) 北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクール、南区体育館にてフットサルスクール、その他 6 施設で SSA フットサル教室を協働開催した。

(ｵ) 北ガスアリーナ札幌 46、清田区体育館・温水プール、西区体育館・温水プール、手稲区体育館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催した。

(ｶ) 北海道日本ハムファイターズと手稲区体育館にてファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催した。

イ　地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

ウ　役員就任など

「札幌市中学校体育連盟選手権大会、新人戦大会顧問」など、役員への就任による運営協力、「全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会」「札幌陸上競技フェスティバル」などのスポーツ大会の後援（114 事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(3) 地域貢献事業

ア　地域の環境保全及び防犯活動

植栽などの実施、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。また、地域における防犯・安全活動への協力として、29 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

イ　障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援Ｂ型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

ウ　募金活動及び献血への協力

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した（募金額：217,683 円）。また、「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

(4) サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

9　利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内　　容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	4,285,307
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,230,477
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	60,274
合　　計	5,576,058 （前年度　4,487,013）
増　　減	1,089,045

(2) 収支

収　入　　4,406,900,471 円

経　費　　4,421,479,479 円

１０　処務の概況

(1) 令和５年度末役員・評議員

役　職	氏　名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会　　長	生島　典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理 事 長	石川　義浩	R4. 4. 1	R5. 6.28	常　勤
常務理事	柴田　幸雄	R2. 6.26	R5. 6.28	常　勤
常務理事	長澤　茂嗣	R2. 4. 1	R5. 6.28	非常勤
理　　事	星　　満	H25. 4. 1	R5. 6.28	常勤
理　　事	川島　行雄	H27. 6.26	R5. 6.28	常　勤
理　　事	沖　　洋安	R 元. 6.26	R5. 6.28	非常勤
理　　事	沖田　孝一	R 元. 6.26	R5. 6.28	非常勤
理　　事	野坂　政司	R2. 4. 1	R5. 6.28	非常勤
理　　事	佐藤　勝美	R2. 4. 1	R5. 6.28	非常勤
理　　事	山﨑　文子	R3. 6.28	R5. 6.28	非常勤
理　　事	北島(川端)　絵美	R3. 6.28	R5. 6.28	非常勤
監　　事	酒井　隆	R5 .6.28	R5. 6.28	非常勤
監　　事	庄司　正史	R3. 4. 1	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	川初　清典	H25. 4. 1	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	晴山　紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	柳原　正明	H28. 4. 1	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	堀田　真理	H29. 6.29	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	平澤　光志	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
評 議 員	紺谷　好範	R2. 6.26	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	阿部　雅司	R3. 6.28	R3. 6.28	非常勤
評 議 員	金谷　泰亨	R5. 6.28	R5. 6.28	非常勤
評 議 員	秋野　憲一	R5. 6.28	R5. 6.28	非常勤

(2) 令和５年度末職員数（単位：人）

職種／性別	男　性	女　性	合　計
総 合 職 員	90	39	129
職務限定職員	22	16	38
再雇用職員等	17	0	17
契 約 職 員	43	45	88
臨 時 職 員	1	0	1
パートタイム職員	221	357	578
合　計	394	457	851

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア　理事会

開催年月日	議事事項
第１回 令和５年６月 13 日（火）	（１）第１号議案　令和４年度事業報告について （２）第２号議案　令和４年度決算及び監査報告について （３）第３号議案　令和４年度公益目的支出計画実施報告について （４）第４号議案　規程の改正について （５）第５号議案　令和５年度定時評議員会の開催について
第２回 令和５年６月 28 日（水）	（１）第１号議案　役職理事の互選について （２）第２号議案　職務代行順序の決定について （３）第３号議案　令和５年度収支予算の変更について
第３回 令和５年 10 月 30 日（月）	（１）第１号議案　財務関連規程の改正について （２）第２号議案　パートタイム職員就業規程の改正について （３）報告第１号　職務執行状況報告(理事長、常務理事)
第４回 令和６年３月 28 日（木）	（１）第１号議案　令和６年度事業計画について （２）第２号議案　令和６年度収支予算について （３）第３号議案　経営計画 2030 の改定について （４）第４号議案　会社役員賠償責任保険契約への加入と内容について （５）第５号議案　諸規程の改正について （６）第６号議案　常勤役員報酬規程の改正について （７）第７号議案　評議員会の開催について （８）報告第１号　職務執行状況報告(理事長、常務理事)

イ　評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和５年６月 28 日（水）	（１）報告第１号　令和４年度事業報告について （２）報告第２号　令和４年度公益目的支出計画実施報告について （３）第１号議案　令和４年度決算及び監査報告について （４）第２号議案　評議員の選任について （５）第３号議案　役員の選任について
第２回評議員会 令和６年３月 28 日（木）	（１）第１号議案　理事の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移　（単位：千円）

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常収益	4,237,526	4,281,698	3,601,812	3,744,595	4,256,330	4,406,900
経常費用	4,195,775	4,316,136	3,742,355	3,949,300	4,287,347	4,421,479
当期経常増減額	41,751	△34,438	△140,543	△204,705	△31,017	△14,579
経常外収益	－	93,483	165,566	254,205	－	－
経常外費用	205	－	－	－	－	－
法人税等	19,887	29,012	520	41,169	520	520
当期一般正味財産増減額	21,659	30,033	△24,504	8,331	△31,537	△15,099
期首一般正味財産額	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645
期末一般正味財産額	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546
当期指定正味財産増減額	－	－	52,000	△ 13,000	△ 13,000	△ 13,000
期首指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000
期末指定正味財産額	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000
期末正味財産額	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546
資産合計	2,994,717	2,969,520	2,872,565	3,008,356	2,836,602	2,776,329
負債合計	1,512,403	1,457,173	1,283,714	1,424,174	1,296,957	1,264,783
正味財産	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	469,662,110	465,726,988	3,935,122
売掛金	0	0	0
商品	1,812,984	1,330,746	482,238
貯蔵品	9,151,500	11,883,240	△ 2,731,740
未収金	871,100,958	988,781,627	△ 117,680,669
立替金	959,929	1,517,663	△ 557,734
預け金	41,305,142	2,485,330	38,819,812
前払費用	6,864,493	5,856,909	1,007,584
流動資産合計	1,400,857,116	1,477,582,503	△ 76,725,387
2 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	615,282,940	582,362,830	32,920,110
什器備品購入積立資産	65,000,000	65,000,000	0
減価償却引当資産	179,485,000	208,900,000	△ 29,415,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	355,000,000	0
健康スポーツ推進資産	17,800,000	17,800,000	0
競技スポーツ普及促進積立資産	46,419,248	59,419,248	△ 13,000,000
特定資産合計	1,288,987,188	1,298,482,078	△ 9,494,890
(3) その他固定資産			
建 物	4,356,563	4,822,026	△ 465,463
車両運搬具	15	153,526	△ 153,511
什器備品	29,664,672	15,865,609	13,799,063
ソフトウェア	25,617,407	13,700,013	11,917,394
リース資産	6,322,870	5,473,714	849,156
電話加入権	456,859	456,859	0
ﾘｻｲｸﾙ預託金	66,210	66,210	0
その他固定資産合計	66,484,596	40,537,957	25,946,639
固定資産合計	1,375,471,784	1,359,020,035	16,451,749
資 産 合 計	2,776,328,900	2,836,602,538	△ 60,273,638
Ⅱ 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
買掛金	842,669	1,021,160	△ 178,491
未払金	273,541,650	335,893,590	△ 62,351,940
未払法人税等	520,000	520,000	0
未払消費税等	36,926,900	55,228,400	△ 18,301,500
未払費用	167,443,423	154,807,755	12,635,668
前受金	52,405,050	54,021,150	△ 1,616,100
預り金	22,525,419	9,112,707	13,412,712
リース債務	3,066,224	2,977,673	88,551
賞与引当金	88,152,291	97,780,674	△ 9,628,383
流動負債合計	645,423,626	711,363,109	△ 65,939,483
2 固 定 負 債			
リース債務	4,076,088	3,231,252	844,836
退職給付引当金	615,282,940	582,362,830	32,920,110
固定負債合計	619,359,028	585,594,082	33,764,946
負 債 合 計	1,264,782,654	1,296,957,191	△ 32,174,537
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出捐金	20,000,000	20,000,000	0
寄付金	13,000,000	26,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産合計	33,000,000	46,000,000	△ 13,000,000
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(13,000,000)	(26,000,000)	△ 13,000,000
2 一般正味財産	1,478,546,246	1,493,645,347	△ 15,099,101
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(660,704,248)	(690,119,248)	△ 29,415,000
正味財産合計	1,511,546,246	1,539,645,347	△ 28,099,101
負債及び正味財産合計	2,776,328,900	2,836,602,538	△ 60,273,638

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	399,801	304,777	95,024
② 事業収益			
参加料収益	61,395,167	51,578,925	9,816,242
協賛金収益	16,506,770	23,985,119	△ 7,478,349
広告料収益	1,900,000	2,609,546	△ 709,546
受講料収益	628,503,371	463,235,371	165,268,000
委託料収益	375,412,273	346,680,038	28,732,235
利用料収益	752,330,059	736,509,407	15,820,652
指定管理費用収益	2,336,290,033	2,405,490,661	△ 69,200,628
測定料収益	3,064,214	3,072,848	△ 8,634
健診料収益	2,166,548	2,899,804	△ 733,256
指導員派遣収益	177,912	266,367	△ 88,455
売上収益	44,664,927	27,969,722	16,695,205
登録料収益	1,155,681	1,132,000	23,681
その他収益	22,682,427	4,679,326	18,003,101
③ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	121,684,775	107,253,856	14,430,919
受取民間補助金	5,274,300	4,096,000	1,178,300
④ 受取負担金			
受取負担金	14,506,931	36,310,286	△ 21,803,355
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金振替額	13,000,000	13,000,000	0
⑥ 雑収益			
雑収益	5,785,282	25,256,284	△ 19,471,002
経常収益計	4,406,900,471	4,256,330,337	150,570,134
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	10,569,000	10,545,000	24,000
給料手当	1,144,433,992	1,136,138,718	8,295,274
退職給付費用	53,163,589	66,828,876	△ 13,665,287
臨時雇賃金	489,896,713	502,952,329	△ 13,055,616
法定福利費	207,932,824	197,618,299	10,314,525
福利厚生費	21,844,529	18,707,134	3,137,395
仕入高	8,558,455	4,665,767	3,892,688
報酬	240,898,198	238,393,315	2,504,883
教育研修費	4,055,684	3,560,667	495,017
報償費	24,670,404	20,579,028	4,091,376
会議費	34,916	68,573	△ 33,657
接待交際費	1,744,178	282,533	1,461,645
旅費交通費	13,166,251	4,964,865	8,201,386
通信運搬費	13,129,081	14,765,426	△ 1,636,345
減価償却費	17,245,229	15,321,543	1,923,686
消耗什器備品費	11,294,560	11,321,097	△ 26,537
消耗品費	100,503,776	88,743,847	11,759,929
修繕費	51,089,294	49,945,050	1,144,244
印刷製本費	5,359,644	4,364,453	995,191
燃料費	5,139,197	4,046,358	1,092,839
光熱水費	854,301,547	900,934,135	△ 46,632,588
賃借料	40,857,428	38,166,033	2,691,395
保険料	11,384,869	8,425,788	2,959,081

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
諸謝金	7,518,730	7,377,860	140,870
広告宣伝費	12,404,599	10,307,722	2,096,877
租税公課	16,027,263	4,774,526	11,252,737
支払負担金	4,771,352	5,342,619	△ 571,267
支払寄付金	13,000,000	27,341,800	△ 14,341,800
委託費	876,068,026	731,033,259	145,034,767
支払利息	159,055	123,107	35,948
支払助成金	42,093,077	39,813,010	2,280,067
支払手数料	14,908,065	11,950,035	2,958,030
雑費	1,875,635	1,018,888	856,747
② 管理費			
役員報酬	10,569,000	10,545,000	24,000
給料手当	62,588,302	64,756,113	△ 2,167,811
退職給付費用	3,075,581	3,654,704	△ 579,123
法定福利費	13,010,844	13,715,068	△ 704,224
福利厚生費	879,056	870,832	8,224
報酬	834,500	998,000	△ 163,500
会議費	7,603	295,353	△ 287,750
接待交際費	267,584	289,008	△ 21,424
旅費交通費	318,039	245,746	72,293
通信運搬費	65,494	91,128	△ 25,634
消耗品費	500,786	619,413	△ 118,627
印刷製本費	138,000	421,270	△ 283,270
賃借料	0	294,530	△ 294,530
保険料	283,100	413,350	△ 130,250
諸謝金	6,100,625	6,141,500	△ 40,875
広告宣伝費	1,385,600	1,833,550	△ 447,950
租税公課	249,155	534,912	△ 285,757
支払負担金	656,166	520,023	136,143
委託費	370,650	602,846	△ 232,196
支払手数料	43,434	53,178	△ 9,744
雑費	36,800	30,000	6,800
経常費用計	4,421,479,479	4,287,347,184	134,132,295
当期経常増減額	△ 14,579,008	△ 31,016,847	16,437,839
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	93	0	93
経常外費用計	93	0	93
当期経常外増減額	△ 93	0	△ 93
税引前当期一般正味財産増減額	△ 14,579,101	△ 31,016,847	16,437,746
法人税、住民税及び事業税	520,000	520,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,099,101	△ 31,536,847	16,437,746
一般正味財産期首残高	1,493,645,347	1,525,182,194	△ 31,536,847
一般正味財産期末残高	1,478,546,246	1,493,645,347	△ 15,099,101
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 13,000,000	△ 13,000,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 13,000,000	△ 13,000,000	0
指定正味財産期首残高	46,000,000	59,000,000	△ 13,000,000
指定正味財産期末残高	33,000,000	46,000,000	△ 13,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	1,511,546,246	1,539,645,347	△ 28,099,101

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法を採用している。 ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用している。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法によっている。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建　　物	7 ～ 35年
車 両 運 搬 具	3 ～ 5年
什 器 備 品	2 ～ 20年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用している。 なお、財団法人利用のソフトウェアについては、協会内における利用可能期間(5年)に基づいている。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金　… 従業員の職員賞与に備えるため、当事業年度に帰属する支給見込額について計上している。

退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(6) 税効果会計の適用について

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

（単位:円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
決済用預金	20,000,000			20,000,000
小　　計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	582,362,830	51,318,330	18,398,220	615,282,940
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	0	65,000,000
減価償却引当資産	208,900,000	0	29,415,000	179,485,000
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	0	355,000,000
健康ｽﾎﾟｰﾂ推進資産	17,800,000	0	0	17,800,000
競技ｽﾎﾟｰﾂ普及促進積立資産	59,419,248	0	13,000,000	46,419,248
小　　計	1,298,482,078	51,318,330	60,813,220	1,288,987,188
合　　計	1,318,482,078	51,318,330	60,813,220	1,308,987,188

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
決済用預金	20,000,000	20,000,000	0	0
小　　計	20,000,000	20,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	615,282,940	0	0	582,362,830
什器備品購入積立資産	65,000,000	0	65,000,000	0
減価償却引当資産	179,485,000	0	208,900,000	0
事務所移転費用積立資産	10,000,000	0	10,000,000	0
指定管理対策費用積立資産	355,000,000	0	355,000,000	0
健康ｽﾎﾟｰﾂ推進資産	17,800,000	0	17,800,000	0
競技ｽﾎﾟｰﾂ普及促進積立資産	46,419,248	13,000,000	33,419,248	0
小　　計	1,288,987,188	13,000,000	690,119,248	582,362,830
合　　計	1,308,987,188	33,000,000	690,119,248	582,362,830

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	11,189,305	6,832,742	4,356,563
車両運搬具	33,394,629	33,394,614	15
什器備品	175,873,325	146,208,653	29,664,672
ソフトウェア	146,771,871	128,466,464	18,305,407
リース資産	135,014,782	128,691,912	6,322,870
合　　計	502,243,912	443,594,385	58,649,527

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

なし

8. 保証債務等の偶発債務

なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	帳　簿　価　額	時　　価	評　価　損　益
退職給付引当投資有価証券			
（利付国債10年第335回）	49,999,595	50,113,050	113,455
（札幌市公募公債r1-8）	100,000,000	99,896,700	△ 103,300
（札幌市公募公債r1-8）	100,000,000	99,920,000	△ 80,000
（NOMURA EUROPE　FINACE N.V）	50,000,000	45,490,000	△ 4,510,000
減価償却引当投資有価証券			
（札幌市公募公債r5-8-3）	10,000,000	9,935,700	△ 64,300
合　　計	309,999,595	305,355,450	△ 4,644,145

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
第48回札幌マラソン	札幌市	0	14,000,000	14,000,000	0	
第44回札幌国際スキーマラソン大会	〃	0	7,500,000	7,500,000	0	
第46回北海道を歩こう	〃	0	810,000	810,000	0	
令和5年度さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業	〃	0	13,000,000	13,000,000	0	
令和5年度第64回札幌市民スポーツ大会事業	〃	0	8,423,000	8,423,000	0	
令和5年度競技力育成強化・普及促進事業	〃	0	14,032,000	14,032,000	0	
令和5年度さっぽろアスリートサポート事業	〃	0	15,000,000	15,000,000	0	
令和5年度札幌市スポーツ少年団運営事業	〃	0	600,000	600,000	0	
さっぽろグローバルスポーツコミッション運営費	〃	0	27,799,508	27,799,508	0	
スノーベースタウンSAPPORO促進事業	〃	0	10,586,902	10,586,902	0	
定山渓温泉(JZK)をベースにした広域スキー並びにアフターコンテンツ確立事業	観光庁	0	9,933,365	9,933,365	0	
夏冬オリンピックレガシーを活用した観光×スポーツツーリズム推進事業	公益社団法人北海道観光振興機構	0	800,000	800,000	0	
令和5年度地方体育・スポーツ協会連絡協議会助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会	0	50,000	50,000	0	
令和5年度北海道スポーツ少年団　組織整備強化事業助成金	公益財団法人北海道スポーツ協会　北海道スポーツ少年団	0	524,300	524,300	0	
さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業助成金	公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団	0	300,000	300,000	0	
6時間リレーマラソン2022助成金	(独)日本スポーツ振興センター	0	3,600,000	3,600,000	0	
合　　計		0	126,959,075	126,959,075	0	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内容

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　容	金　額
経常収益への振替額 目的達成による指定解除額	13,000,000
合計	13,000,000

12. 関連当事者との取引の内容

（単位：円）

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	決議権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事実上の関係				
当該法人を支配する法人	札幌市	札幌市中央区北2条西1丁目	－	地方公共団体	－	－	出資団体	施設管理運営に係る指定管理料等	2,336,290,033	未収金	764,450,839
								事業補助金	111,751,410	－	－
								学校開放事業、運動・健診事業委託料等	369,894,516	未収金	51,290,297

13. 重要な後発事象

な し

14. その他

(1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

各施設における券売機及び複合機等である。

(2) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務に関する事項(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

①退職給付債務	615,282,940
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	615,282,940

③ 退職給付費用に関する事項(自:令和5年4月1日　至:令和6年3月31日)

(単位:円)

①勤務費用	56,239,170
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付費用(①+②)	56,239,170

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として、計算している。

⑤ 会計基準変更時差異の処理年数　1年

⑥ 過去勤務債務の額の処理年数　1年

(3) 税効果会計関係

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

繰延資産損金算入限度超過額	1,324,603
未払事業所税否認	4,731,588
未払事業税	0
賞与引当金	24,307,821
一括償却資産	3,646,188
退職給付引当金繰入金超過額	114,507,657
繰延税金資産計	148,517,857
評価性引当額	△ 148,517,857
繰延税金資産　合計	0

② 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位:円)

	非収益事業	収益事業	合　　計
税引前当期一般正味財産増減額 (A)	95,551,146	△ 110,130,247	△ 14,579,101
寄付金損金算入限度額 (B)	0	0	0
小　計 (C)＝(A)+(B)	95,551,146	△ 110,130,247	△ 14,579,101
法人税、住民税及び事業税 (D)	0	520,000	520,000
法人税等調整額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (A)－(D)－(E)	95,551,146	△ 110,650,247	△ 15,099,101

③ 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

税引前当期一般正味財産増減額がマイナスとなっているため記載を省略いたします。

附属明細書

1．基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2．引当金の明細

（単位:円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	97,780,674	88,152,291	97,780,674	0	88,152,291
退職給付引当金	582,362,830	51,318,330	18,398,220	0	615,282,940

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	38,268,929
	預金	決済用預金	運転資金として	
		㈱北海道銀行行啓通支店	〃	407,878,010
		㈱北洋銀行東屯田支店	〃	4,954,441
		㈱ゆうちょ銀行小樽貯金事務センター	〃	18,560,730
	売掛金		売店商品の売買代金	0
	商品		売店販売用として	1,812,984
	貯蔵品		事業で使用する物品在庫	9,151,500
	未収金		施設利用料金等	871,100,958
	立替金		職員の雇用保険等	959,929
	預け金		現金回収業務委託における預け金	41,305,142
	前払費用		保険料の前払い等	6,864,493
流動資産合計				1,400,857,116
（固定資産）				
基本財産	預金	決済用預金	法人会計保有財産	
		㈱北海道銀行行啓通支店		20,000,000
特定資産	退職給付引当資産	決済用預金	職員の退職金支払いに備えたもの	
		㈱北海道銀行行啓通支店		315,283,345
		投資有価証券		
		利付国債10年第335回		49,999,595
		札幌市公募公債r1-8		100,000,000
		札幌市公募公債r1-8		100,000,000
		NOMURA EUROPE FINACE N.V		50,000,000
	什器備品購入	決済用預金	備品の購入に備えたもの	
	積立資産	㈱北海道銀行行啓通支店		65,000,000
	減価償却引当資産	決済用預金	減価償却引当に備えたもの	
		㈱北海道銀行行啓通支店		169,485,000
		投資有価証券	減価償却引当に備えたもの	
		札幌市公募公債r5-8		10,000,000
	事務所移転費用	決済用預金	事務局移転に備えたもの	
	積立資産	㈱北海道銀行行啓通支店		10,000,000
	指定管理対策費用	決済用預金	指定管理者制度への対策費用	
	積立資産	㈱北海道銀行行啓通支店		355,000,000
	健康スポーツ推進	決済用預金	健康スポーツ事業実施に充てるための資産	
	積立資産	㈱北洋銀行東屯田支店		17,800,000
	競技スポーツ普及	決済用預金		
	促進積立資産	㈱北海道銀行行啓通支店		46,419,248
その他固定資産	建物	車庫等	保有車両等保管用として	4,356,563
	車両運搬具	トラック等業務用車両	健康スポーツ事業等にて使用するため	15
	什器備品	トレーニング器具等	健康スポーツ事業等にて使用するため	29,664,672
	ソフトウェア	会計システム等		25,617,407
	リース資産	複合機等	健康スポーツ事業等にて使用するため	6,322,870
	電話加入権			456,859
	リサイクル預託金			66,210
固定資産合計				1,375,471,784
資産合計				2,776,328,900

（単位：円）

貸借対照表		場所・物量等	使用目的等	金　　額
（流動負債）				
	買掛金		売店商品の仕入未払分	842,669
	未払金		その他会計等の経費他の未払分	273,541,650
	未払法人税等		法人税等の未払分	520,000
	未払消費税等		消費税の未払分	36,926,900
	未払費用		職員等の給与未払分	167,443,423
	前受金		健康スポーツ事業参受講料等の前受分	52,405,050
	預り金		源泉所得税等の預り分	22,525,419
	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	3,066,224
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	88,152,291
流動負債合計				645,423,626
（固定負債）				
	リース債務		複合機等のリース物品に係る債務	4,076,088
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金支払いに備えたもの	615,282,940
固定負債合計				619,359,028
負債合計				1,264,782,654
正味財産				1,511,546,246